

Digital Video Recorder

取扱説明書

WEBGATE SDI シリーズ DVR

UHD1604F-U / UHD1608F-P / HDC442F-PD

この製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品を快適にご使用頂くために、この取扱説明書を注意してお読みください。
また、後日もお使い頂けますように、本書を大切に保管してください。

著作権 / 認証 / 商標 / 限定保証

著作権

このマニュアルは著作権法により、事前の許可なしでいずれのコンテンツも転載や複写は認められておりません。

認証

CE、FCC、KCC、RoHS

商標

イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
マイクロソフト、MS-DOS、Windows、Internet Explorer、および Windows NT は
米国および他の国におけるマイクロソフト社の登録商標です。

限定保証





製造業者、輸入業者、および販売店は、偶発的な損害（損傷・負傷を含む）また不適切な使用や操作によって起こされた損害に、一切の責任を負いません。


警告

製品を適切に操作して頂くために、製品を操作する前にすべての安全上の警告事項をよくお読みいただき、ご理解のうえ、正しくお使いください。


警告は Danger、Warning、Caution および Important に分類されます。

上記の警告は、システムの不適切な使用のために起こるかもしれない損害の程度を示します。


 Danger	死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。 最大の危険警告です。
 Warning	損傷の危険性あり。 製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。
 Caution	軽傷または損害の危険性あり。 操作に関する要件または制限。
 Important	お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を 注意してお読みください。

	<p>死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。 最大の危険警告です。</p>
---	---


- 電池を交換する際に誤った種類のもので交換しますと、爆発する可能性があります。また、使用済みの電池は正しい方法に従って処分してください。
- この製品は室内で使用するために作られています。
- 取扱説明書または製品仕様書の中で示されている電源電圧でご使用ください。また、付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。
- 感電の恐れがありますので、火や水の近くまたは湿気の多いところでは製品を使用しないでください。
- 電源ケーブルコードの上に重いものを置かないでください。電源ケーブルコードが損傷し発火や感電の原因となります。
- 製品の上に液体の入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、内部に入ると発火や感電、故障を引き起こす原因となります。
- 電源ケーブルコードを切りつける、曲げる、ねじる、引っ張る、または加熱するなどの行為はしないでください。電源ケーブルコードの損傷は発火と感電につながります。
- 製品の天板を取り除かないでください。感電する恐れがあります。内部検査やメンテナンスが必要な場合は、ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 分解や改造など、製品内部に手を加えないでください。発火や感電の原因となります。
- 異臭・発煙・異常音を感じた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 製品を落下させたり、破損させた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- ぬれた手で製品に触れないでください。感電する恐れがあります。

	<p>損傷の危険性あり。 製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。</p>
---	--

- 電源ケーブルやコードなどは、足でひっかけるような場所に配線しないでください。つまづいて怪我をすることがあります。
- 水・飲料または液体との接触を避けてください。修理不可能な損傷をもたらす原因となります。
- 雷の時には、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。製品の破損の原因になります。
- 電源が入った状態で外部装置を接続しないでください。製品またはカメラからの過度な電流により感電の恐れがあります。

 Caution	<p>軽傷または損害の危険性あり。 操作に関する要件または制限。</p>
---	--

- 異物が製品についてしまった場合、やわらかい布切れを使用して取り除いてください。異物を取り除くために化学薬品（シンナー、溶媒など）を使わないでください。
- 以下の場所に製品を設置したり、操作を行わないでください。
 - 極端に高温/低温、温度差が激しい場所
 - 湿度の高い場所またはエアコン付近、温度変化の激しい場所
 - ほこりの多い場所
 - 製品の上面や側面にある換気孔から放熱することができない場所
- クレジットカード/テレホンカード/銀行預金口座通帳/チケットなどの磁気特性のあるものを製品のそばに置かないでください。
- 静電気は製品の内部部品に損害をもたらす恐れがあります。リヤパネルと製品内部に触れる前に、身体から静電気を取り除いてください。
- この製品を処分する際は、各地域の産廃物処分の規則にしたがって正しく処理してください。

 Important	<p>お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を注意してお読みください。</p>
--	---

- 電源が不安定な状態や感電が起こる状態では、製品は正常に作動しません。適切な定格出力であることをご確認ください。
- 製品は停電の際に設定を保持するように設計されていますが、停電による電源電圧変化などにより、製品データの破損などの損害を受ける可能性があります。データ保護や録画を正常に継続するには無停電電源装置 (UPS) をご利用ください。
- 製品は、ビデオデータをハードディスクに録画できるように設計されていますが、ハードディスクやその他のエラーにより、適切に録画されない可能性があります。製品の定期的なメンテナンスを行ってください。
- 製品は使用者が設定を変更できるように設計されていますが、誤った設定を行うと誤動作をもたらすことがあります。製品は公認された設置業者によってのみセットアップしてください。
- 製品が接続されてからの外部アクセサリ（カメラ、センサー、LAN、ハードディスクなど）の接続は、外部不良の誤動作のリスクを招きます。公認された設置業者によって定期メンテナンスを行ってください。
- 製品のラックへの設置には、専用のラック取付金具をご使用ください。
- 本製品では、1KB=1024B、1MB=1024KB、1GB=1024MBと換算して数値を表記しております。

警告

- 日光が直接当たる場所や発熱体から近い場所への製品の設置は避けてください。(出火の原因となります。)
- 製品の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬、また液体を入れた入れ物などを置かないでください。(落下により出火、感電、または人・物に障害を与える恐れがあります。)
- 金属物(コイン、ヘアピン)や可燃物(マッチ、紙)を通気孔に挿入したり落としたりしないでください。(出火や感電を引き起こす原因となります。)
- 製品の上に重い物を置かないでください。(落下や破壊によって人・物に損傷を負わせる原因となります。)
- 電源プラグは抜けないようにしっかりと差し込んでください。(出火の原因となります。)
- 稲妻や雷が鳴っている場合、システムをシャットダウンしてください。(雷の影響を受ける場合があります。)
- 製品をクリーニングする時は、乾いたタオルで表面を拭いて下さい。化学薬品やクリーナーを使用すると色に変色したり塗料が剥げる恐れがあります。
- 一度にいくつものプラグをタコ足配線で使用しないでください。(感電の恐れがあります。) 煙または異臭を感じた場合、操作をお止めください。この場合、直ぐに電源を切りプラグを抜いてください。その後、ご購入いただきました販売代理店にご連絡ください。(そのままご使用になりますと、出火や感電の原因となります。)
- コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。(コードが破損する恐れがあり、出火や感電を起こす場合があります。)
- 濡れた手でプラグを抜いたり差し込んだりしないで下さい。(感電の原因となります。)
- 電源コードをねじったりしないで下さい。(出火や感電を引き起こす原因となります。)
- 適切なアダプターをご使用下さい。(あまりに多くの電力を使用しますと、出火や感電を引き起こす場合があります。)
- 雨風が当たる場所に設置しないで下さい。(出火、感電、またその他の故障の原因となります。)
- 火、また出火しやすい場所から離してください。(出火の原因となります。)
- 分解や改造などはしないで下さい。(感電や故障の原因となります。)
- 可燃性スプレーのような可燃性のものを側に置かないで下さい。(出火の原因となります。)
- ほこりの多い場所に設置しないで下さい。(出火の原因となります。)
- 揺らぐテーブルの上や傾斜場所のような不安定な場所に設置をしないで下さい。(落下により人・物に障害を与える危険性があります。)
- 重い物を電源コードの上に置いたり、またデバイスの圧迫にもご注意下さい。(出火や感電の原因となります。)
- エクステンションコードをご使用になるときは、同時に数台のデバイスのご使用は避けてください。(異常な加熱により発火する恐れがあります。)
- 電源プラグピンまたはコンセントの上に土ぼりがあるときには、丁寧に掃除してください。(出火の原因となります。)
- 電源コードやプラグを、曲げたり、ねじったり、または引っ掛けたりしないで下さい。また、熱い場所に置かないでください。コンセントの挿入部分がピッタリと入らない場合は、使用しないで下さい。(出火や感電の原因となります。)
- 製品を落下させたり衝撃を与えたりしないで下さい。(人に障害を与えたり、製品の故障の原因となります。)
- 電源アダプターに触れないで下さい。(感電する恐れがあります。)
- 冷却用ファンの開口部を塞がないで下さい。(発火の原因となります。)
- 不適当な電池交換をしますと、爆発する危険性があります。
- ご使用済みの電池は、正しい方法により処分して下さい。
- 幼児が間違っって電池を口にしない様に、気を付けて下さい。(もし幼児が電池を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師にご連絡下さい。)

.....

目次

著作権 / 認証 / 商標 / 限定保証	2
第 1 章 本体構成説明	9
1 製品の構成と名称	10
1-1 構成品	10
1-2 製品の説明	10
2 設置	14
2-1 設置環境のチェック	14
2-2 HDDの追加	14
3 他の機器との接続	14
3-1 HDMIビデオ出力	14
3-2 VGAモニタ接続	14
3-3 カメラ接続	15
3-4 電源コード接続	15
3-5 音声接続	15
3-6 外部機器接続	15
3-7 eSATAデバイス接続	15
3-8 入出力端子接続	15
3-9 センサー接続	16
3-10 リレー接続	16
3-11 RS485 K/B シリアルポートと外部デバイス接続	16
4 便利な機能	16
4-1 起動ロゴとブランクチャンネルロゴの変更	16
4-2 USBメモリを使用してチャンネル名の変更	16
第 2 章 本体取扱説明	19
1 監視画面	20
1-1 ライブ画面	20
1-2 単画面	20
1-3 分割画面	20
1-4 ステータスバー	20
2 各種設定	25
2-1 システム	25
2-2 ネットワーク	30
2-3 デバイス	34
2-4 イベント	37
2-5 録画	40
3 検索	42
4 コピー (バックアップ)	44
4-1 EXE コピー	44
4-2 AVI コピー	45
4-3 コピー再生	46
4-4 miniplayer 説明	48
5 Webビューワー	51
5-1 PC推奨環境について	51

5-2 ログイン	51
5-3 モニター	53
5-4 再生	57
6 HTML5 Webviewer	61
6-1 PC 推奨環境について	61
6-2 ログイン	61
6-3 モニター	61
6-4 再生	63
6-5 Remote DVR	64
7 モバイルアプリケーション	65
7-1 iOS アプリの登録方法	65
7-2 Android アプリ登録方法	66
第3章 WNS (Webgate Naming Service) 設定手順	67






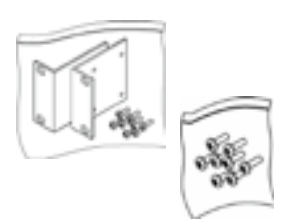
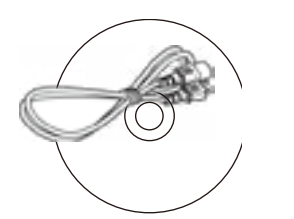
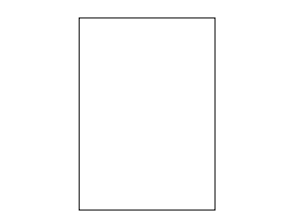
第 1 章 本体構成説明

取扱説明は、原則として製品が発売された当初のものを掲載しています。従って、記載内容とお客様がお持ちの製品の仕様が、その後のマイナーチェンジなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 製品の構成と名称

1-1 構成品

製品購入時付属のコンポーネントが含まれているかどうかを確認してください。

			
DVR	リモコン & 電池 *	マウス	電源コード
			
アダプタ	HDD プラケット & ネジ	ソフトウェア & マニュアル CD	簡易取扱説明書

*HDC442F-PDのみ。

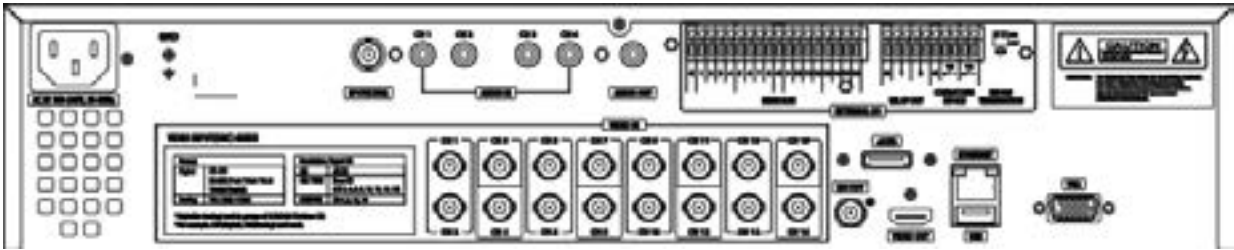
1-2 製品の説明

1-2-1 前面パネル (UHD1604F-U、UHD1608F-P 共通)



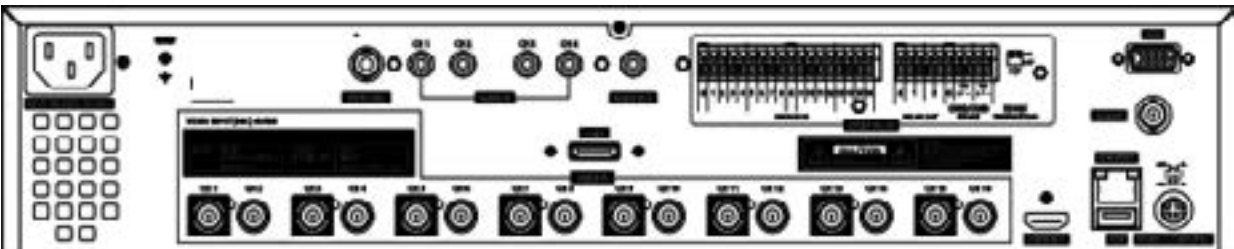
名称	機能	
① USBポート	USBメモリ、USBマウスのための接続端子です。	
②	POWER	電源ONのときに点灯します。
	REC	録画が進行中であるときに点灯して録画状態を表示します。
	EVENT	イベントが発生した際に点灯します。
	NET	ネットワークに接続された時に点滅動作して、ネットワーク接続を示しています。

1-2-2-① 背面パネル (UHD1604F-U)



名称	機能
① 電源入力	AC100V ~ AC240V 電源コードソケット
② GND	アース接続
③ CVBS スポット	CVBS SPOT モニター用接続ポート
④ AUDIO IN / AUDIO OUT	UDIO IN : 音声入力端子 AUDIO OUT : 音声出力端子
⑤ 外部 I/O	センサー : 外部センサー入力端子 リレー : リレー接続端子 Com2 / 3 : RS485 機器との接続用 RS485 方式を使用する場合は終端抵抗を設定してください。
⑥ USB	USB メモリ、USB マウスのための接続端子
⑦ eSATA	eSATA HDD 接続用端子
⑧ VIDEO IN	HD-SDI、EX-SDI、EX-SDI 2.0、EX-SDI 2.1 (EX-SDI 4M、EX-SDI 8M) および TDM 用の BNC コネクタ
⑨ VIDEO OUT	メインモニター用ビデオ出力ポート

1-2-2-② 背面パネル (UHD1608F-P)



名称	機能
① PoC	
② GND	アース接続
③ CVBS スポット	CVBS SPOT モニター用接続ポート
④ AUDIO IN / AUDIO OUT	UDIO IN : 音声入力端子 AUDIO OUT : 音声出力端子

.....

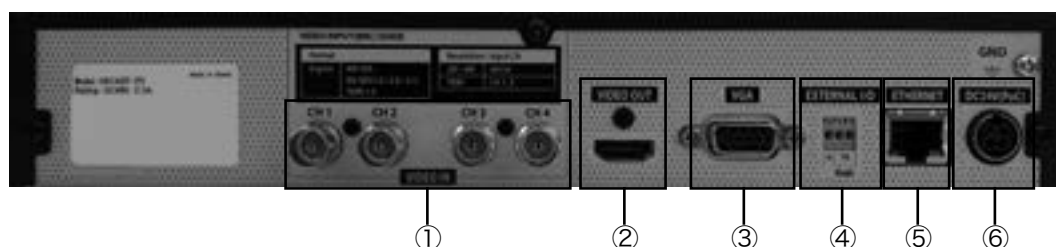
⑤	外部 I/O	センサー：外部センサー入力端子 リレー：リレー接続端子 Com2 / 3：RS485 機器との接続用 RS485 方式を使用する場合は終端抵抗を設定してください。
⑥	USB	USB メモリ、USB マウスのための接続端子
⑦	eSATA	eSATA HDD 接続用端子
⑧	VIDEO IN	HD-SDI、EX-SDI、EX-SDI 2.0、EX-SDI 2.1 (EX-SDI 4M、EX-SDI 8M) および TDM 用の BNC コネクタ
⑨	VIDEO OUT	メインモニタ用ビデオ出力ポート

1-2-3-① HDC442F-PD 前面パネル



名称	機能	
①	REC	録画が進行中であるときに点灯して録画状態を表示します。
	NET	ネットワークに接続された時に点滅動作して、ネットワーク接続を示しています。
	POWER	電源 ON のときに点灯します。
②	USB ポート	USB メモリ、USB マウスのための接続端子です。

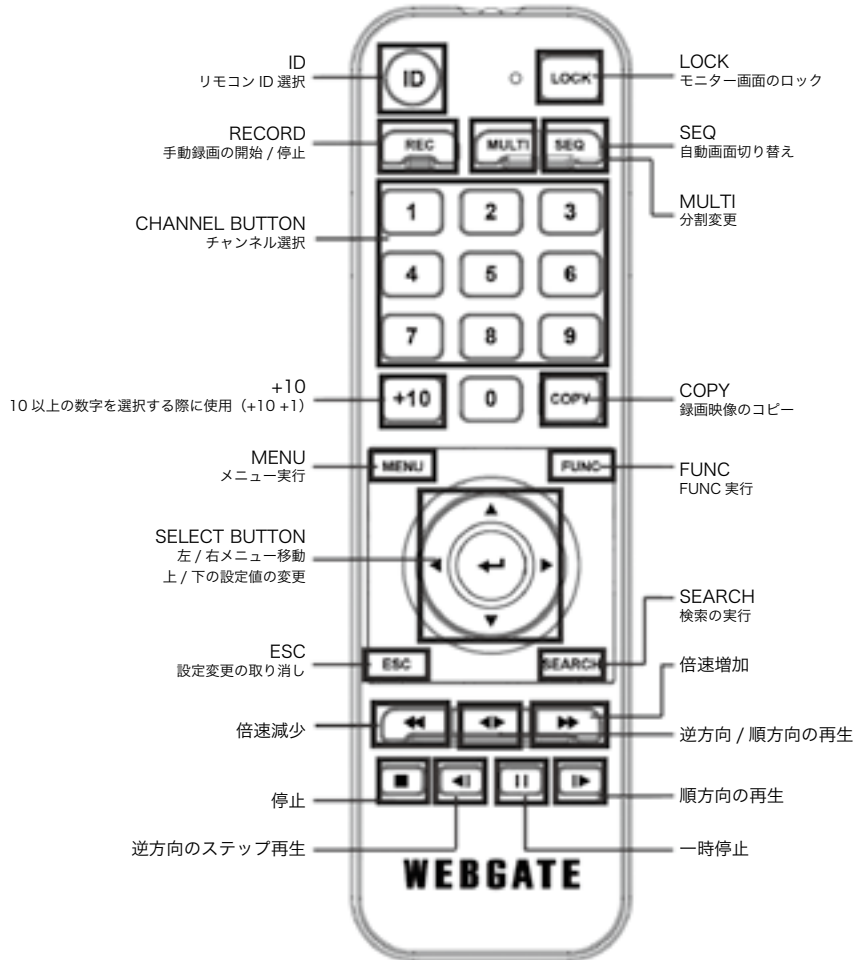
1-2-3-② HDC442F-PD 背面パネル



名称	機能	
①	ビデオ入力	HD-SDI カメラ入力用 BNC コネクタ
②	ビデオ出力	HDMI モニター用コネクタ
③	ビデオ出力	VGA モニタ用出力端子
④	外部 I/O	RS485 デバイス用
⑤	イーサネット	ネットワーク接続端子
⑥	DC24V (PoC 用)	PoC カメラ用電源アダプター端子

1-2-4 リモコン (HDC442F-PDのみ)

製品のすべての機能を操作することができます。また、一つのリモコンで複数の製品を操作できます。リモコンを使用するには、システム設定のリモコンIDの部分で使用するIDを設定する必要があります。リモコン1台で最大16台のDVRを操作できます。



リモコンIDを設定

メニュー→システム→ツール

本製品を複数で使用する場合、リモコンIDを区別して1つのリモコンで複数の製品を操作することができます。リモコンIDは1～16まで設定可能で、すべてのIDを使用したい場合は[全部]を設定します。

リモコンID選択

異なるIDが設定された多数の製品を一つのリモコンで選択して操作することができます。必要なDVRを選択するには、2秒程度のBEEP音が鳴るまでリモコンのIDボタンを押します。

2 設置

2-1 設置環境のチェック

このDVRは大容量の内蔵HDDと回路版を備えたセキュリティデバイスです。設置の際に製品の内部温度が高すぎると損傷が発生する可能性があり、製品寿命が短くなる可能性があるため注意事項などをお読みください。

電源アース

電源アースを取らないと損傷、誤動作などの原因となる可能性がありますので必ず取るようにしてください。

DVRをラックに設置する際の注意事項

1. DVRが設置されているラック内部を密閉しないで下さい。
2. 吸気口と排気口を塞がないで下さい。
3. 製品の上に重ねて他の製品を設置しないで下さい。機器間のスペースを確保してください。
4. 通気ファンなどを設置することを推奨します。
5. 製品動作温度5℃～45℃を保つようにしてください。
6. DVRとラックのアースを接続してください。

2-2 HDDの追加

HDDを追加する場合は必ず、DVRの電源を終了し、電源コードも取り外してください。

データ損失に関する警告

- HDDデータが損傷しないように取り扱いには十分注意してください。
- HDDを接続する前に互換性を確認してください。
- HDDに衝撃を与えないで下さい。破損や故障の原因となります。

HDDデータが破損する可能性の注意

- HDDは消耗品です。データの損失を最小に抑えるために必要なデータはコピーしてください。
- HDDに衝撃を与えたり分解などをすると、データ損傷の可能性がります。
- 停電や正規の手続き以外の方法でのDVRの電源を切ると、HDDが破損する可能性があります。
- HDD動作中にDVRを動かしたり、衝撃を与えないで下さい。

3 他の機器との接続

3-1 HDMIビデオ出力

1920×1080およびUHD/4K(3840×2016)の解像度を持つHDMIモニタをサポートします。HDMI解像度が【UHD/4K(preferred)】に設定されている場合、DVRはHDMIモニタの最大解像度を自動的に検出することができます。そのため、モニタがFHDのみサポートする場合、ビデオ出力解像度はFHDになります。モニタがUHD/4Kをサポートしている場合は、出力解像度はUHD/4Kになります。モニタがUHD/4Kをサポートしていても、一部モニタはFHDとして検出する場合があります。その場合は、HDMI出力解像度を【UHD/4K】に設定してください。

3-2 VGAモニタ接続

VGA出力はメインモニタ出力(HDMI)をサポートします。サポートされている解像度は、800×600、1024×768、1280×1024、および1920×1080です。サポートされているモニタの解像度を確認してください。

<確認>

.....

①出力解像度を変更する場合は、DVRの再起動が必要です。
メニュー→デバイス→モニター→HDMI解像度で変更可能です。

②VGA出力解像度の変更
メニュー→デバイス→モニター→VGA解像度で変更可能です。

<注意>

HDMIケーブルは接続確認が取れているものを使用してください。ケーブルによっては4H/UHDが表示されない場合があります。

3-3 カメラ接続

ネットワークケーブルを接続し、UIを使用してIPカメラを登録してください。Onvif Profile-SまたはWESPをサポートするIPカメラを接続することができます。

3-4 電源コード接続

電源コードが接続されるとDVRは自動的に起動します。

3-5 音声接続

オーディオ入出力はRCA端子となります。

3-6 外部機器接続

USBデバイス接続

USBポートで保存映像のコピーとUSBマウスを使用することができます。
USBデバイスの定格は以下の仕様を超えないようにします。

USBバージョン	Ver 2.0
使用可能デバイス	USBメモリースティック
出力電圧 / 電流	各 DC 5V 最大 200mA

<参考>

USBメモリはFAT32フォーマットされている必要があります。
DVRは、Windows上で追加プログラムが必要なUSBは認識しないことがあります。

3-7 eSATAデバイス接続

外部のeSATAストレージを使用する場合は、背面のeSATAポートに接続します。DVRは電源供給しないため、eSATAデバイスの追加電源が必要になります。

<参考>

- ・ すべてのeSATAがDVRと互換があるわけではないので事前に動作確認が必要です。
- ・ デバイスによっては認識されないことがあります。その場合は以下の手順で接続確認を行ってください。

1. DVR電源をオフします。
2. eSATAデバイスの電源をオフにし、DVRと接続します。
3. eSATAデバイスの電源をオンします。
4. DVRの電源をオンします。

3-8 入出力端子接続

電線の先端処理方法

ターミナルブロックの仕様電線の終端処理方法は以下の通りで、単線や撚り線を使用する場合は使用可能な線の太さが異なりますので注意して作業します。

- 撚り線：線を指定した長さ（8～10mm）だけ剥いて芯線に半田を付けて使用します。
- 単線：電線を指定された長さ（8～10mm）だけ剥いて使用します。

3-9 センサー接続

仕様

センサー入力は以下の様な仕様と動作条件があります。

仕様	入力回路数	16入力
	入力フォーム	N.C, N.O サポート
	サポートセンサー	無電源接点（ドライ接点）センサー
	接続方法	ターミナルブロックに被覆を剥いた電線を接続して使用

※製品仕様によっては異なります。

3-10 リレー接続

仕様

リレー出力は以下のような仕様と動作条件があります。

仕様	出力回路数	4出力
	出力方式	無電源接点（ドライ接点）
	接続方法	ターミナルブロックに被覆を剥いた電線を接続して使用

3-11 RS485 K/B シリアルポートと外部デバイス接続

キーボードデバイス（WKC-200）をDVRのRS485K/Bシリアルポートに接続すると、DVRおよびIPカメラPTZを制御することができます。また、並列に接続された複数のキーボードを使用することができます。キーボードはDVRのIDを選択し、並列接続されたDVRの中から指定して制御することが可能です。

4 便利な機能

4-1 起動ロゴとブランクチャンネルロゴの変更

起動ロゴとブランクチャンネル（チャンネル不使用/未許可チャンネル/未割当チャンネル）のロゴイメージを変更することができます。

4-1-1 起動ロゴの変更

【wgi_boot_logo.jpg】という名前のjpeg画像ファイルをUSBメモリにコピーします。（720×480解像度のみ対応）USBメモリをDVRに挿入し、ブザーが鳴ったら再起動してください。このイメージは起動時に表示されます。

4-1-2 ブランクチャンネルロゴの変更

【wgi_app_logo.png】という名前のpngファイルをUSBメモリにコピーします。（推奨解像度は640×360、16:9比率）USBメモリをDVRに挿入し、ブザーが鳴ったら再起動してください。このイメージはチャンネル不使用/未許可チャンネル/未割当チャンネルの位置に表示されます。

<参考>

解像度が極端に低い画像は適用されません。
ファイル名と解像度が適応していないと、ブザーは鳴りません。

4-2 USBメモリを使用してチャンネル名の変更

1. PCで新しいテキスト (*.txt) ファイルを作成し、以下の形式でチャンネル名を記述します。変更したくないチャンネルはスキップできます。

CH1:Door CH3:Exit

2. 【wgi_channel_name.txt】という名前のテキストファイルを保存し、文字円コーディングをUTF-8として選択する必要があります。
3. 【wri_channel_name.txt】ファイルをUSBメモリにコピーします。
4. USBメモリをDVRのUSB端子に挿入します。
5. 自動的にtxtファイルに保存されているチャンネル名が適用されます。すべてのチャンネル名が適用されるとブザー音が鳴ります。
6. ブザー音が鳴ったら、USBメモリをDVRから取り外してください。
7. 約5秒後に、チャンネル名が変更されたことが確認できます。

<参考>

拡張子にかかわらず、USBメモリには【wgi_channel_name】という名前のファイル1つだけにしてください。

第 2 章 本体取扱説明

1 監視画面

1-1 ライブ画面

DVRの電源を入れると自動的に監視ライブ画面になります。



1-2 単画面

単画面表示したいカメラ画面をマウスでクリックするか本体のパネルの番号を押す、もしくはリモコンで対応した番号を押すと1画面表示します。



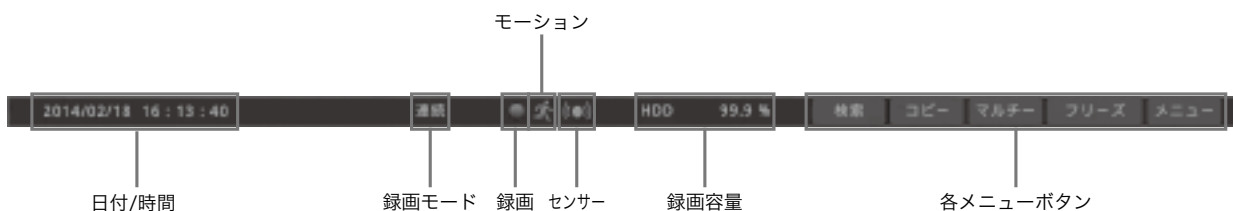
1-3 分割画面

単画面表示を分割表示にする場合は本体もしくはリモコンで【MULTI】ボタンを押すか、マウスでダブルクリックします。

1-4 ステータスバー

監視画面下にあるステータスバーは、現在の日付・録画設定状態・イベント検出などDVRの現在の状態を表示します。

ステータスバー右側には「検索」「コピー」「マルチ」「フリーズ」「メニュー」のボタンがありマウスで選択することができます。



ライブ画面上でマウスを右クリックもしくは本体の【FUNC】ボタンを押すと下図のようなウィンドウが表示されます。



①検索

この項目は検索に入ります。ここからの検索は2種類のみです。「最後の再生時間に移動」と「最後の録画データに移動」となります。

「最後の再生時間に移動」：前回の再生の続きを確認した場合選択します。
「最後の録画データに移動」：再生可能な一番新しいデータを確認したい場合選択します。

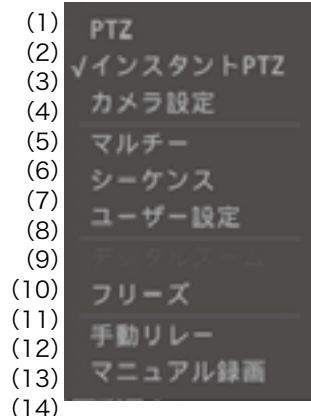


②コピー

この項目は、録画データのバックアップを行うものです。詳細は、44 ページの「4 コピー (バックアップ)」をご参照ください。

③ツール

この項目を選択すると右図のようになります。

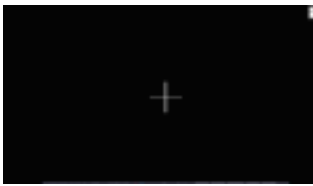


(1) PTZ



この項目はPTZ設定をしているカメラがある場合に使用します。右図のようにメニューが表示されますので、手動でパン/チルトズームなどの操作が可能です。

(2) インスタントPTZ




この項目はPTZ設定をしているカメラがある場合に使用します。インスタント設定にチェックを入れているカメラ画面に+の表示が出ます。マウスでクリックするとパン/チルト、トラックボールでズームなどが操作可能です。

(3) カメラ設定



DVRにRS485などの制御を接続していたり、CoCを利用してカメラ設定を行うことが可能です。

「チャンネル」でカメラ番号を指定します。「カメラ設定」と  を選択するとカメラのメニューが表示されます。上下左右のボタンでカーソルを移動させます。

(4) マルチ

画面の分割表示を選択します。



(5) シーケンス

選択すると画面表示が単画面の切替わり画面になります。モニターの上の方にSEQと表示されます。表示されている間はシーケンスモードです。シーケンスモードを解除する場合は、右クリックしツール⇒シーケンスを選択するか、右クリックしツール

⇒マルチから16分割画面を選択してください。

(6) カスタム設定



現在の表示されている画面をカスタム設定として画面登録することが

可能です。ユーザー設定を選択すると右図の画面が表示されます。

カスタム設定はA～C3つに登録可能です。設定を保存するには際には必ず「設定」ボタンを選択してください。

(7) デジタルズーム



この項目は画面のデジタルズームです。分割画面では選択できません。単画面表示した状態で選択可能になります。デジタルズーム機能が働いていると画面右上に右図

のような表示が出ます。ズームは最大10倍まで可能です。ズーム位置は「↑」「↓」「←」「→」ボタンで調整できます。ズーム機能を解除する場合は「x」ボタンを選択します。

(8) フリーズ

この項目はライブ画面のフリーズボタンです。ライブ画面がフリーズします。フリーズ機能が働いていると画面右上に「FREEZE」と表示されます。フリーズを解除する場合はマウスで画面の「FREEZE」表示を選択します。

(9) スナップ写真

この項目は、ライブ映像を単画面にした時のみ有効になります。単画面にした画面をUSBメモリーにJPGとして静止画を保存することができます。

(10) 緊急録画

この項目は緊急録画を手動でオン・オフする機能です。


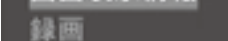
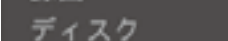
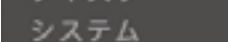



(11) ALL Event Confirm

(12) ブックマーク

この項目は、現状の時間帯をブックマーク登録することができます。最大で20まで登録可能です。

.....

④情報




- (1)  この項目を選択すると左図のようになります。
- (2) 
- (3) 
- (4) 
- (5) 
- (6) 
- (7) 

(1) 画面表示情報

この項目はカメラの名称やステータスバーの表示方法などが設定できます。選択すると右図のように表示されます。

A. チャンネル名

この項目はチャンネル名の表示を変更できます。表示させたいものを選択します。

  左図の項目を選択した場合、 ボタンを選択することによりカメラの位置を変更できます。ただし、分割画面を選択し直すと元に戻ります。

B. ビデオ上のテキスト

この項目は表示の色・サイズ・枠を変更できます。変更したい項目を選択します。

C. 表示 / 非表示 / 自動非表示

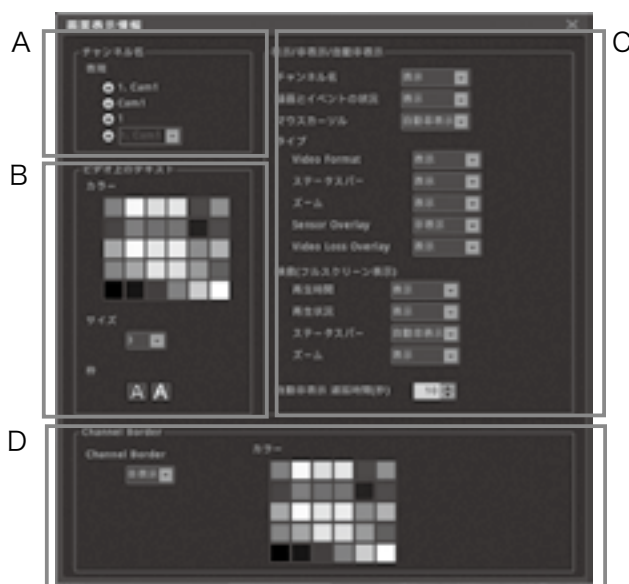
この項目はチャンネル名などの表示を設定します。

各項目で「表示」「非表示」「自動非表示」から選択します。

「自動非表示」を選択した場合、「自動非表示 遅延時間(秒)」から秒数を(3～300)の間で設定します。

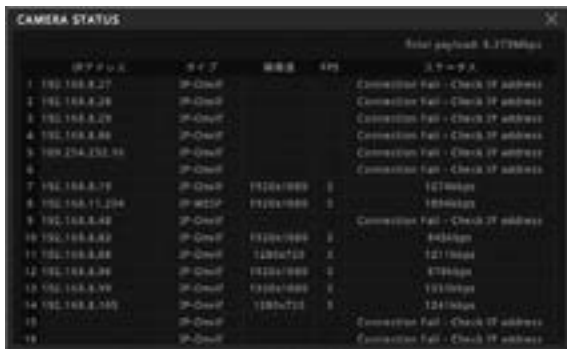
D. Chanel Border

チャンネルのボーダーライン表示 / 非表示を選択します。ボーダーラインの色を選択可能です。



(2) カメラ

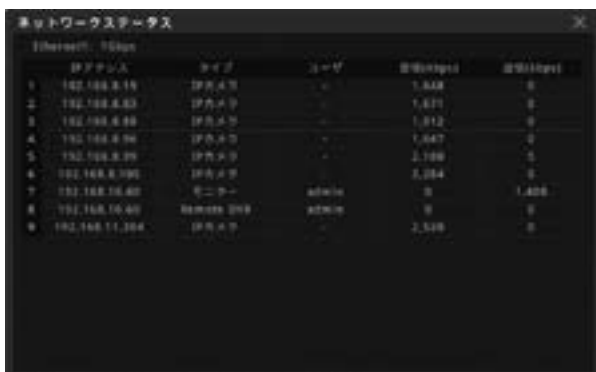
この項目は現在のカメラ接続の確認ができます。



IPアドレス	タイプ	接続状況	状況	ステータス
1 192.168.8.27	IP-Cam	Connection Fail - Check IP address		
2 192.168.8.28	IP-Cam	Connection Fail - Check IP address		
3 192.168.8.29	IP-Cam	Connection Fail - Check IP address		
4 192.168.8.30	IP-Cam	Connection Fail - Check IP address		
5 192.168.8.31	IP-Cam	Connection Fail - Check IP address		
6		Connection Fail - Check IP address		
7 192.168.8.79	IP-Cam	1920x1080	3	1079Kbps
8 192.168.11.204	IP-Cam	1920x1080	3	1080Kbps
9 192.168.8.89	IP-Cam	Connection Fail - Check IP address		
10 192.168.8.87	IP-Cam	1920x1080	3	843Kbps
11 192.168.8.88	IP-Cam	1280x720	3	727Kbps
12 192.168.8.94	IP-Cam	1920x1080	3	879Kbps
13 192.168.8.99	IP-Cam	1920x1080	3	1033Kbps
14 192.168.8.100	IP-Cam	1280x720	3	724Kbps
15		Connection Fail - Check IP address		
16		Connection Fail - Check IP address		

(3) ネットワーク

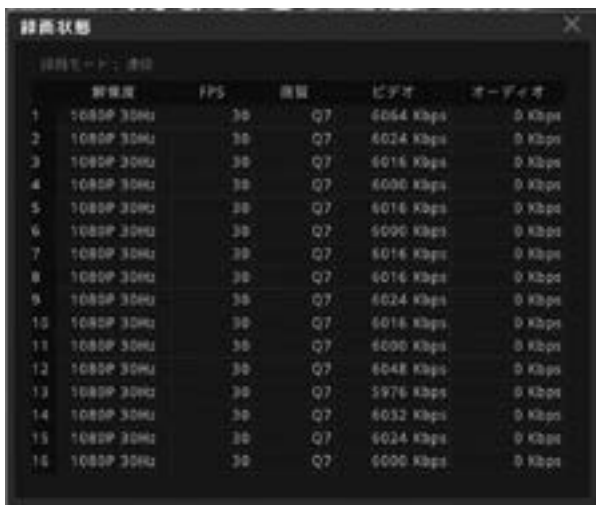
この項目はネットワーク状況を確認できます。



IPアドレス	タイプ	ユーザ	送信帯域	受信帯域
1 192.168.8.19	IPカメラ	-	1,424	0
2 192.168.8.83	IPカメラ	-	1,671	0
3 192.168.8.85	IPカメラ	-	1,812	0
4 192.168.8.94	IPカメラ	-	1,647	0
5 192.168.8.95	IPカメラ	-	2,199	0
6 192.168.8.96	IPカメラ	-	2,284	0
7 192.168.16.40	モニター	admin	0	1,400
8 192.168.16.40	Monitor DVR	admin	0	0
9 192.168.11.204	IPカメラ	-	2,528	0

(4) 録画

この項目は現在の録画設定を確認できます。



解像度	FPS	画質	ビデオ	オーディオ
1 1080P 30Hz	30	Q7	6064 Kbps	0 Kbps
2 1080P 30Hz	30	Q7	6024 Kbps	0 Kbps
3 1080P 30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
4 1080P 30Hz	30	Q7	6090 Kbps	0 Kbps
5 1080P 30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
6 1080P 30Hz	30	Q7	6090 Kbps	0 Kbps
7 1080P 30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
8 1080P 30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
9 1080P 30Hz	30	Q7	6024 Kbps	0 Kbps
10 1080P 30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
11 1080P 30Hz	30	Q7	6090 Kbps	0 Kbps
12 1080P 30Hz	30	Q7	6048 Kbps	0 Kbps
13 1080P 30Hz	30	Q7	5976 Kbps	0 Kbps
14 1080P 30Hz	30	Q7	6032 Kbps	0 Kbps
15 1080P 30Hz	30	Q7	6024 Kbps	0 Kbps
16 1080P 30Hz	30	Q7	6090 Kbps	0 Kbps

(5) ディスク


この項目は現在のディスク状況を確認できます。



タイプ	名前	容量	フォーマット	パーティション	状態
固定	ATA WUCW32000R0	2	1907728	MS-DOS FAT	正常

(7) システム

この項目はシステム状況を確認できます。
DVRのファームウェアやシリアルナンバー、搭載されているHDD容量などが確認できます。

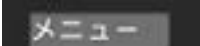






モデル名	HD1608P-PCR
ファームウェアバージョン	5.5.0
ハードウェアバージョン	1.1
シリアル番号	TD0213811104
MACアドレス	00:30:a1:03:a5:82
カメラタイプ	1080p30
HDD総容量	1853.2 GB
HDD空き容量	1.9 GB

(8) システムアラーム

この項目はアラームの履歴を確認できます。

⑤システム

- (1)  この項目を選択すると左図のようになります。
- (2) 
- (3) 
- (4) 
- (5) 

(1) メニュー

この項目を選択すると DVR のメニューに入ります。詳しくは 25 ページの「2 各種設定」をご参照ください。

(2) ロック

この項目を選択すると下図(上)のようになります。DVR にロックをかけたい場合は「はい」を選択します。

マウスでクリックもしくは本体のフロントボタンを押すと下図(下)のようになります。

ロックを解除したい場合は、「ユーザー ID」を選択し、選択した ID のパスワードを入力して「ロック解除」ボタンを選択します。



(3) ログアウト



この項目を選択すると左図のようになります。

パスワードを入力し、ログインしなければ画面が立ち上がりませんので、ご注意ください。

(4) 電源オフ

この項目は DVR 本体の電源を切る場合に使用します。

選択すると下図のようになります。

電源を切らない場合は、「いいえ」を選択します。

電源を切る場合は「はい」を選択します。

「はい」を選択すると自動的に電源が切れますのでそのままお待ちください。



(5) 再起動

この項目は DVR 本体の電源を再起動する場合に使用します。選択すると右図のようになります。

再起動をしない場合は、「いいえ」を選択します。

再起動をする場合は「はい」を選択します。

「はい」を選択すると自動的に電源が切れ、自動的に立ち上がりますのでそのままお待ちください。



2 各種設定

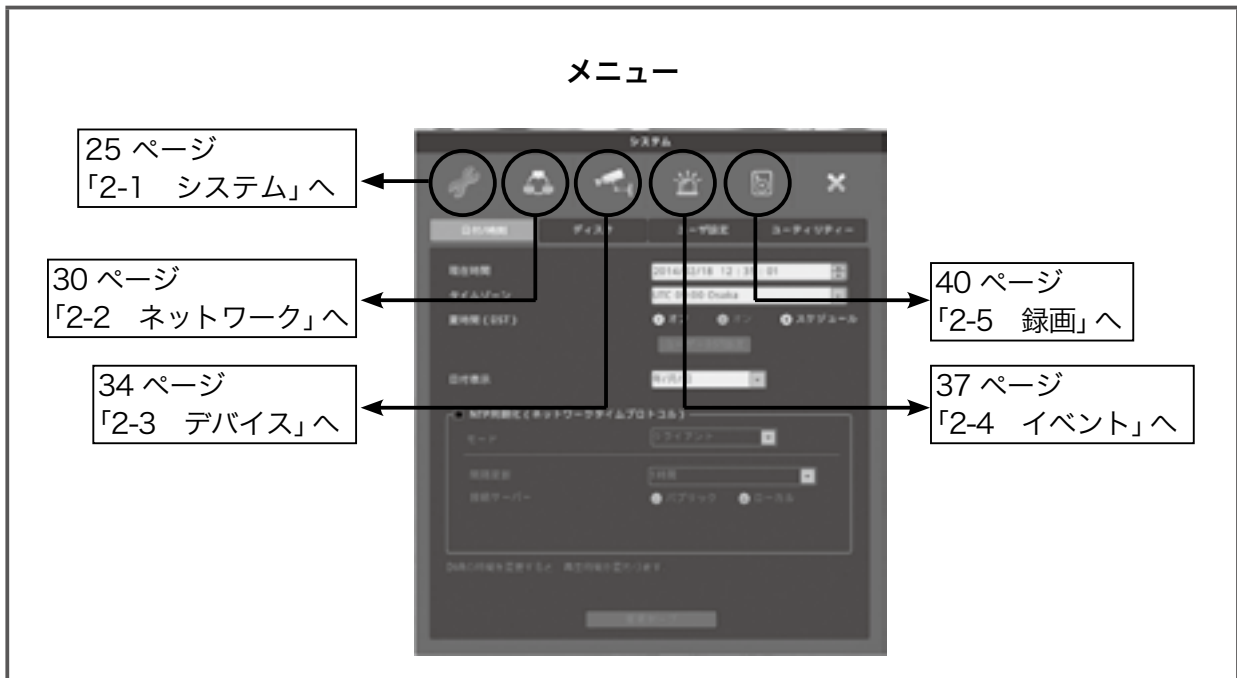
監視画面でマウスを右クリックもしくは本体【FUNC】ボタン、リモコンの【HELP】ボタンを押すと下図の表示が出ます。



【システム】を選択するとその隣に別項目が表示されます。
その中の【メニュー】を選択します。

検索 コピー マルチカメラ フリーズ メニュー またはステータスバー右側の【メニュー】を選択します。

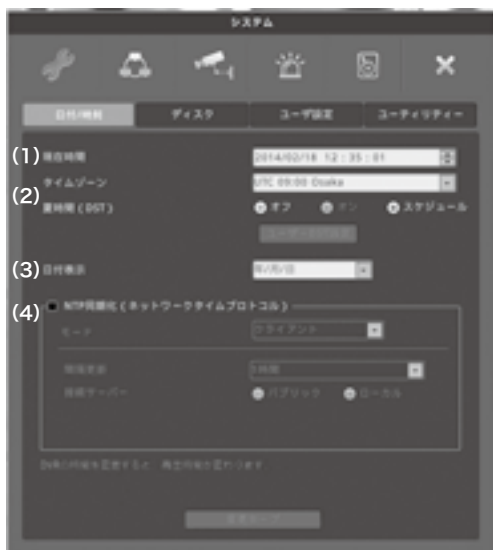
※本体の【MENU】ボタン、またはリモコンの【MENU】ボタンを押しても選択できます。



2-1 システム

設定画面は次のようになります。

2-1-1 日付/時刻



- (1) 現在時刻：現在時刻の修正を手動で設定できます。
- (2) タイムゾーン：DVRを使用する地域のタイムゾーンを選択できます。

サマータイム (DST)：[オフ]、[オン]、[スケジュール]を選択できます。ユーザー DST 設定を選択すると下図のようになります。



(3) 日付表示：日付表示パターンを選択します。[]ボタンで選択します。

(4) NTP同期化 (ネットワークタイムプロトコル)：NTPを設定する場合下図の画面で設定します。



モード	[クライアント]、[サーバー]、[クライアント+サーバー] から選択します。
更新間隔	[1時間]、[3時間]、[6時間]、[12時間]、[24時間] から選択します。
接続サーバー	[パブリック]、[ローカル] から選択します。 [ローカル] を選択した場合は、サーバーIPアドレスを入力する項目が表示されます (下図) のでアドレスを入力します。

2-1-2 ディスク



(1) 録画方法

(2) ブロック再生

(3) ディスクマネージャー

(3) ディスクフォーマット

(1) ハードディスクの空き容量がなくなった場合

● 上書き(古いデータを自動削除)

● 録画停止

(2) ブロック再生

○ 録画データの削除

UWD48グループ

UWD48: 設定

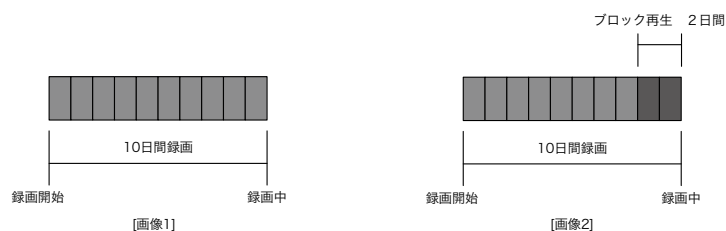
● LAN1 ● LAN2

(1) 録画方法

オーバーライト チェックをするとHDD容量が一杯になった場合、古いデータを削除して上書きを続けます。

録画停止 チェックをすると右図のような表示になり、設定したパーセンテージに容量が達すると警告表示され録画が停止します。

(2) ブロック再生：設定した日数分のデータしか再生できないようにします。

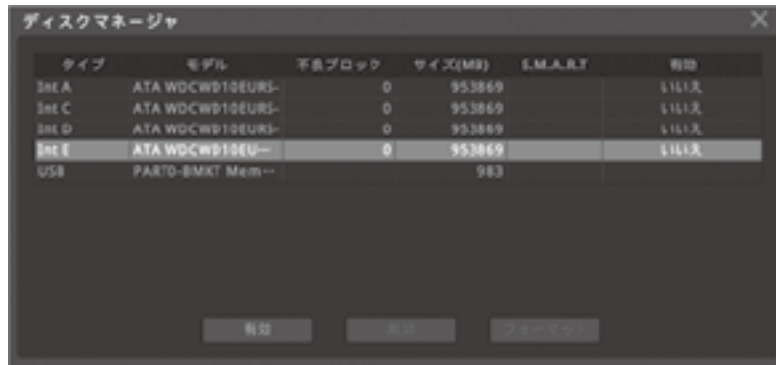


例えば、すでに10日間録画されており、ブロック再生を2日と設定した場合、録画データとしては、10日間記録されていますが、再生は現在より2日前までしかできません。

「データ削除」をチェックすると再生制限の設定した日付分だけ録画します。

例えば再生制限の設定期間を3日に設定すると、現在の時刻を基準として3日間のデータのみを保持し、3日以前のデータは上書きされます。削除されたデータは復元できませんのでご注意ください。

(3) ディスクマネージャー：HDDを追加した場合の認証や取り外し、フォーマットなどを行います。



タイプ	HDDもしくはその他のドライブの接続場所です。IntA (内部AのHDD)、IntB (内部BのHDD)、CD/DVD (DVDドライブ)
モデル	各タイプのモデル名が表示されます。
不良ブロック	HDD 内の不良ブロックを表示します。不良ブロックの数が表示されます。0は正常です。
サイズ	各ドライブの容量を表示します。
S.M.A.R.T	HDDが正常かどうかの状態を表示します。
有効	HDDの使用状況を表示します。「はい」は使用、「いいえ」は未使用です。

2-1-3 ユーザー設定

ユーザー 1 ～ 10 までに使用できる機能権限をそれぞれに与えられます。
admin (管理者) は全ての権限があります。

ユーザーを切り替えます。
 ボタンでユーザー一覧を表示し選択します。

「(1) ID/パスワードの変更」へ

「(2) 追加ユーザー管理」へ

選択したユーザーの権限が表示されます。
 ボックスが青くなっている項目に権限があります。

(1) ID/パスワードの変更

ユーザー IDは最大20文字、パスワードは5~15文字で変更可能です(パスワードは数字のみ)。

- ①ID&パスワードの変更ボタンを選択すると上図のように表示されます。



- ②変更したい項目を選択すると上図のようにキーボードが表示されますので入力します。入力が終わったら「エンター」ボタンを選択します。



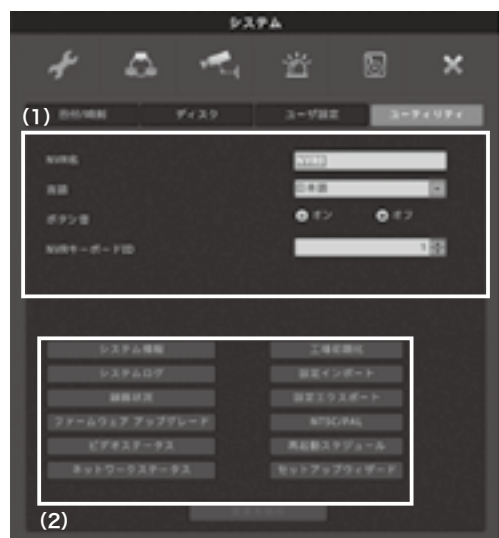
(2) 追加ユーザー管理

追加ユーザー管理を選択すると右図のように表示されます。

自動ログイン	初期設定は admin が選択されています。変更する場合は このボタンを選択し、ユーザーを変更します。 アクティブの を外すと DVR の電源投入時に自動ログインされなくなります。DVR 起動時に下図のようになり、パスワードを入力してログインしなければ画面が立ち上がりませんのでご注意ください。
自動ログアウト	これを選択すると指定した時間でログアウトします。
Auto Lock	これを選択すると指定した時間でロックします。



2-1-4 ユーティリティ



(1)

「DVR 名称」	DVR の名前を変更できます。最大20文字で英数のみの入力可能です。
「言語」	DVR の言語を設定します。
「ボタン音」	DVR 本体前面のタッチパネルボタンまたはボタン音のオン・オフを選択します。
「DVR キーボード ID」	キーボードコントローラにより DVR のすべての機能を使用する場合、キーボードコントローラのアドレスを設定します。
「リモコン ID」	リモコンの ID を設定設定できます。



(2)

[システム情報] DVRシステム情報が表示されます。F/Wバージョンなどが表示されます。



[システムログ] DVR本体のシステムログが表示されます。本体にUSBを差し、「USBメモリにコピー」ボタンを選択するとデータとして保存できます。

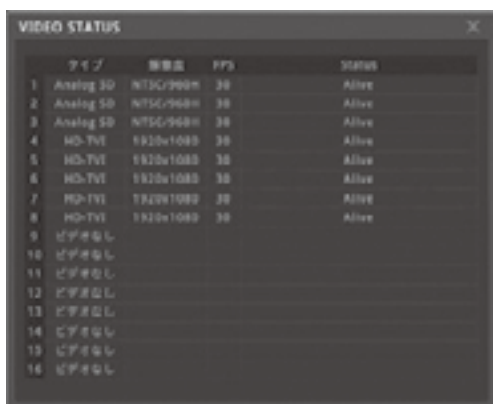


[録画状態] 現在の録画状況が確認できます。



[ファームウェアアップグレード] USBメモリーよりファームウェアをアップデートすることができます。

- ①ファームウェアが入っているUSBを差し込みます。
 - ②「ファームウェア更新」ボタンを選択すると上図のようになります。
 - ③アップデートする場合は、「はい」を選択します。
 - ④自動的に再起動しますので、そのままお待ちください。正常に起動したらアップデート成功です。
- ※ファームウェアアップデート中は電源を絶対に切らないでください。



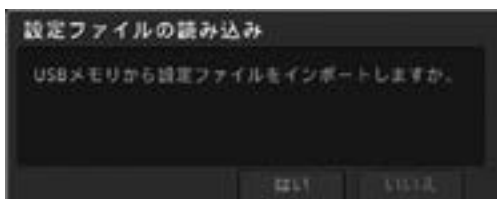
[ビデオステータス] 現在のカメラ入力状況が確認できます。



[ネットワークステータス] ネットワーク状況が確認できます。



[工場初期化] 設定を工場出荷時に変更します。



[設定インポート] DVRの設定をUSBメモリーから読み込みます。



[設定エクスポート] DVRの設定をUSBメモリーに保存します。

[NTSC/PAL] アナログカメラの入力を設定します。初期設定は「AUTO」です。

[セットアップウィザード] DVR基本設定のガイド項目です。

2-2 ネットワーク

2-2-1 ネットワーク



「タイプ」 ネットワーク設定のタイプを選択します。イーサネット / PPPoEを選択します。

▶ イーサネットを選択の場合

「自動アドレス割当 (DHCP)」 オフ/オンを選択します。

▶ オフを選択の場合

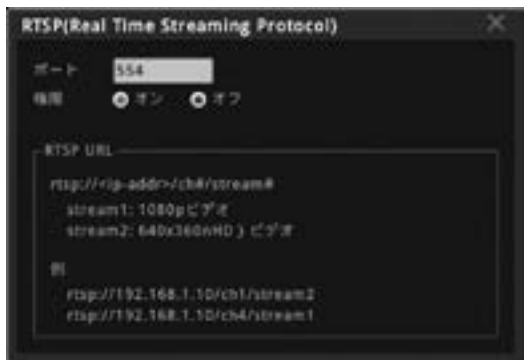
「IPアドレス」 IPアドレスを入力します。

「ネットマスク」 ネットマスクを入力します。

「IPアドレス2 (PoE)」 PoEポート用のIPアドレスです。
※ UHN1600-H2にはありません

「ゲートウェイ」 ゲートウェイIPアドレスを入力します。

[UPnPポートフォワーディング] 初期設定ではオフになっています。UPnPを使用してルーターのポート開放を行う場合はオンに設定します。



▶ PPPoE を選択の場合

(ルータを使わずに、DVRを直接インターネットに接続する場合選択します。)

「ID」	PPPoE 接続の ID を入力します。
「パスワード」	PPPoE 接続のパスワードを入力します。
「DNS1」 「DNS2」 「DNS3」	それぞれにアドレスを入力します。
「ポート」	初期設定は 80 に設定されています。必要に応じて変更してください。
「帯域幅制限」	DVR からデータを出力する最大伝送速度を設定することができます。初期設定は制限なしに設定されています。
「ビデオストリーミング」	RTSP を利用する場合に設定します。



「IP フィルタリング」	リモートからの DVR への接続を制限します。
タイプ	許容・・・特定の IP アドレスからのみ接続を許可します。 断り・・・特定の IP アドレスからの接続を拒否します。 1 ~ 10 : 許可または、拒否する IP アドレスを入力します。IP アドレスは、開始のアドレスと終わりのアドレスを入力します。



[Service Streaming]

「Service Channel」：このサービスにチェックを入れるとネットワーク接続した際にすべてのチャンネルを 1ch とみなして閲覧が可能です。

「Remote DVR」：このサービスにチェックを入れると Windows PC のリモートデスクトップと同様に遠隔地から DVR を制御することができます。

※ Service Channel と Remote DVR は両方は選択できません。

2-2-2 DDNS

DDNS サービスは DVR1 台につき 1 アカウントを無償でご利用いただけますが、機能を常時保証するものではありません。確実に安定してサービスをお求めの場合には、ISP 提供の固定 IP アドレスサービス (IP1) などをご利用ください。



DDNS を使用する場合は **使用** をチェックします。
WNS (mycam.to) / カスタム DDNS を選択します。
WNS (mycam.to) を使用する場合 [ドメイン作成] ボタンをクリックします。

■ドメインの作成

WNS を使用する場合は、DDNS のユーザーアカウントが必要になります。ユーザーアカウントが無い場合は、先に [ユーザーアカウントの作成] よりアカウントを作成してください。(1 つのアカウントで複数のドメインの登録に利用できます。)



■ユーザーアカウントの作成 (オプション)

①「サインアップ」からユーザーアカウントを作成します。
[ユーザーアカウントの作成] ボタンをクリックして、WNS で利用するユーザーアカウントを作成します。
<http://mycam.to> にアクセスして、登録したユーザーアカウントでログインすると作成したドメインの状況を確認できます。

②「ID」「パスワード」及び「パスワードの確認」を入力して、「ユーザーアカウントの作成」ボタンをクリックします。
※ ID、パスワードは 4 ~ 15 文字の英数字、- (ハイフン) 及び、(カンマ) です。また、電子メールの入力は任意です。



③ユーザーアカウント作成で作成したユーザー ID とパスワードを「ユーザーアカウント (オプション)」にチェックを入れて入力します。

④その後ドメインを任意で入力し、[ドメイン作成] ボタンを選択します。
作成が問題なければ、「状況」のところに登録した日付が表示されます。
作成に問題があれば、「状況」のところに登録されていません (ログイン失敗) と表示されますので、再度ドメイン作成を行ってください。

2-2-3 WRS (Webgate Dynamic IP Registration Server)



WRSを利用すると、複数のDVRをグループ化して管理することができます。
使用する場合は[使用]にチェックを入れます。

【状態】	WRSに登録されていれば、日付/時間が表示されます。
【URL】	WRSサーバーのURLです。初期値を利用してください。
【グループ】	サイトのグループIDを入力します。グループIDから接続されているDVRを検索できます。

2-2-4 Radius



RADIUSを利用すると、DVRのユーザー認証をRADIUSサーバーが一括で管理します。使用する場合は[使用]にチェックを入れます。

【IPアドレス】	RADIUSサーバーのIPアドレスを入力します。
【ポート】	RADIUS認証のポート番号を入力します。

2-3 デバイス

2-3-1 カメラ



チャンネルの有効化

使用するカメラチャンネルをチェックします。チェックを外すとカメラを接続しても映像が出ません。録画もできなくなります。

名称変更



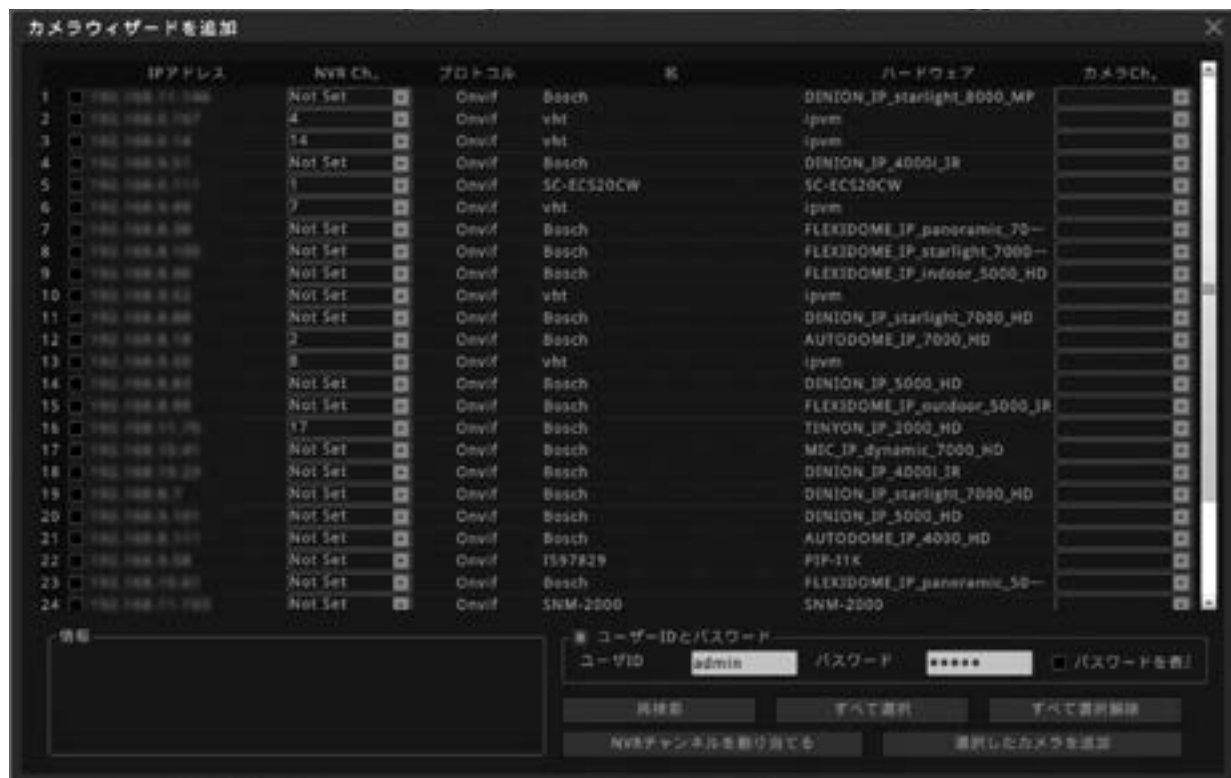
削除ボタン

カメラ名称を変更できます。(英数のみの入力です。)

デフォルトでCam1 ~ Cam16と表示されているところを選択すると画面上にキーボードが表示されますのでこのキーボードを使用して名称を変更します。

「Add Camera Wizard」

カメラを接続するにはこのボタンを選択します。選択するとが図のようなウインドが表示されます。



DVRのIPアドレスと同一セグメントのカメラの一覧が表示されます。

IPアドレス、プロトコル、メーカー name、ハードウェア (型番) などが表記されます。

【DVR Ch】項目で表示したいチャンネルを選択し、画面右下の[ユーザID]と[パスワード]にカメラ情報を入力します。[Add Selected Camera] ボタンを選択してください。

選択したら画面右上の【x】 ボタンを選択し、画面を閉じます。



左図の画面になりますので、[変更を保存] ボタンを選択すると指定したチャンネルにカメラ映像が表示されます。

※設定を保存しないと反映されませんのでご注意ください。

※本製品とカメラを接続するにはDVRのIPアドレスと同一セグメントに設定する必要があります。あらかじめ、カメラのIPアドレスを設定する必要があります。ご注意ください。



[設定]	左図のようにカメラの情報が表示されます。IPアドレス等の情報が表示されます。
[テスト]	モデル名やシリアル番号、Main Stream, 2nd Streamが表示されます。
[クリア]	設定されていたカメラ情報が削除されます。再度、設定する必要があります。

2-3-2 PTZ



ポート	カメラの状態を表示します。
デバイス	カメラプロトコルを表示します。
アドレス	カメラIDを表示します。
ポーレート	カメラのポーレートを表示します。
etc	カメラプリセットなどを設定します。
キーボード	DVRをコントロールできコントローラーを設定します。



「プリセット」	選択されたプリセットをロード/セーブ/クリアすることができます。
「補助機能」	選択された補助機能をオン/オフすることができます。
「ツアー」	選択されたツアーをオン/オフすることができます。

2-3-3 モニター



(1) 自動シーケンス (SEQ) :
ライブ映像の自動画面切替の設定です。

切替順番や表示チャンネルを編集できます。

シーケンス動作区間 :

1 ~ 16 の範囲で選択できます。

※入力CH数によって選択範囲が変わります。

変わります。



(2) MULTI ボタン

本体正面の【MULTI】ボタンの順番や表示チャンネルを編集できます。

シーケンス動作区間 :

1 ~ 16 の範囲で選択できます。

画面切替の順番や切替時間などを設定します。

※入力CH数によって選択範囲が変わります。



(3) Configure HDMI Resolution

HDMI出力の選択をします。

初期設定は1920×1080になります。

※設定変更を反映させるには再起動が必要となります。



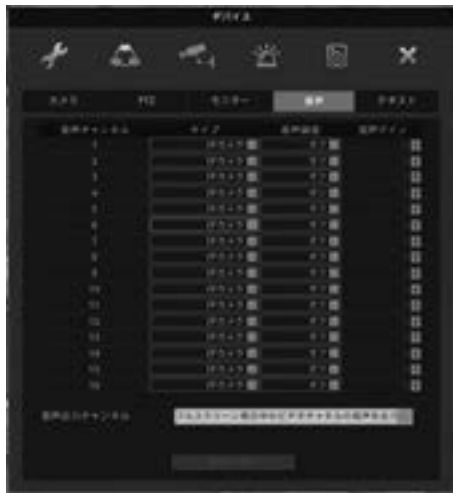
(4) VGA 解像度

VGA 出力の解像度を変更することができます。

※ 設定を反映させるためには再起動が必要となります。

※ VGA 解像度の変更は HAC1630F のみです。

2-3-4 音声



音声チャンネル	音声入力の番号です。
タイプ	音声入力タイプを選択します。
音声録音	音声を録音する場合はオン、録音しない場合はオフを選択します。
音声ゲイン	音声音量を設定します。
音声出力チャンネル	ライブ画面でどのチャンネルの音声入力を出力するかを選択します。
「現在、全画面表示のビデオチャンネルのオーディオ出力」	音声チャンネルと同期がとれている映像入力を単画面表示した場合に音声を出力します。
always audio ch	指定 CH の音声入力を常に出力します。

2-4 イベント

2-4-1 イベント



※ イベント使用のチェックを外すと、センサー・モーションなどの設定をしても動作しませんのでご注意ください。

(1) イベント使用

スケジュール	[常にイベント監視]、[カスタム] から選択します。[カスタム] を選択すると [カスタムスケジュール] が選択できます。[カスタムスケジュール] ボタンを選択する左下図のように表示されます。
スケジュール追加	時間と曜日を選択し「追加」ボタンを選択すると緑色に変化します。
スケジュール除去	「削除」ボタンや「初期化」ボタンで選択したスケジュールをクリアします。

(2) イベントアクション

イベント連動	リレー、ブザー、電子メール、FTP、ビデオポップアップ、システムアラーム、カメラプリセット、Alarm Pushから選択します。
「リレー 1」	イベント発生時にリレー出力から通知します。
「ブザー」	イベント発生時に設定した時間だけ本体ブザーを通して通知します。
「電子メール」	イベント発生時にメールでイベント発生を通知します。
「FTP」	イベント発生時のチャンネル映像をイメージでFTPサーバーに転送します。
「ビデオポップアップ」	モーション感知時に単画面表示させます。
「システムアラーム」	HDDエラーなどの通知をします。
「カメラプリセット」	PTカメラ接続時にイベント発生時に連動させてあらかじめ登録したプリセット番号へカメラを移動させます。
「Alarm Push」	WEBEYE (スマートフォン用アプリ) へアラーム通知します。



HDDエラー	ハードディスクエラーが出たとき
WRSの登録失敗	WRS登録失敗したとき
電源オン	DVRの電源を入れたとき
パスワードエラー	パスワードエラー時
RAIDエラー	RAIDエラー時。ノーマルイベント/システムイベントソースともにチェックで設定がONになります。
アクション時間	イベントが発生時にどれぐらいの期間で信号を発生させるかを選択します。イベント連動で「電子メール」「FTP」を選択した場合、詳細の設定をする必要があります。

(3) 電子メール設定

(4) FTP設定

メール設定/FTP設定ともに必要な項目を入力してください。

2-4-2 モーション



モーション機能は画像の変化によって反応するセンサーの一部です。

ビデオチャンネル	各チャンネルごとに設定をします。設定したいチャンネルを選択します。モーション検知のチェックを外すとモーション検知が動作しませんのでご注意ください。
感度	モーションセンサー感度が最低、1～10、最高から選択設定します。初期値は5になります。
「領域変更」	選択したビデオチャンネルの画像上に15×10で領域設定します。領域を選択した部分は緑色に変わります。初期設定は全領域選択されています。



領域変更を終了する場合はをクリックします。

「すべてのチャンネルに適用」	このボタンは領域変更をした1つのチャンネルの設定を全チャンネルに適用させます。
----------------	---

※IPカメラの場合はモーション領域・感度などはカメラ側の設定となります。

2-4-3 センサー



センサーの種類を選択します。

2-5 録画

ここでは録画の設定をします。

録画モードはNormal/Event RecordとSchedule/Event Recordの2種類があります。

2-5-1 録画



録画モード	Normal/Event Record と Schedule/Event Record この2つから選択します。
Normal/Event 録画	<p>選択したプログラムによって録画します。</p> <p>Normal/Event 録画は選択したプログラムによって録画設定が決まります。41ページの「2-5-2 プログラム」をご確認ください。</p> <p>Schedule/Event 録画の場合、「スケジュール設定」を行います。時間曜日ごとにどのプログラム (A ~ I) を設定するかを表により設定します。</p> <p>プログラムを選択していない場合は、録画できませんので注意してください。</p> <p>プログラム設定についての詳細は、41ページの「2-5-2 プログラム」をご確認ください。</p>
プログラム編集	録画プログラムを指定 (A ~ I)
緊急録画	ライブ画面から緊急録画が設定できるようにする場合はオンを選択します。
プリイベント時間	イベント発生時の1 ~ 5 秒前から録画を開始できます。
ポストイベント時間	イベント終了後、どれくらい録画するかを設定します。1 秒 ~ 30 分の範囲で設定できます。イベントが発生した時点から設定した時間だけ記録を行います。

2-5-2 プログラム

「プログラムの変更」を押し、通常時の録画設定とイベント時の録画設定をします。



(1) 録画モード

プログラムはA～Iまでの9つ設定ができます。

カメラごとに録画フレーム・画質を設定します。FPSを0にすると録画なしとなります。

ノーマル録画 (通常時の録画設定)

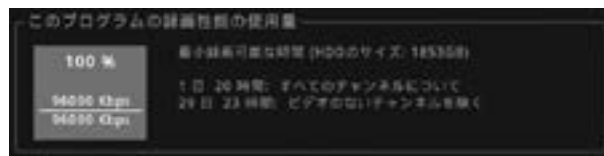
FPS	録画フレーム数を設定します。
画質	録画画質を設定します。低・2～9・高まであり、最高画質は高になります。

イベント録画 (イベント時の録画設定)

FPS	録画フレーム数を設定します。
画質	録画画質を設定します。低・2～9・高まであり、最高画質は高になります。

通常時・イベントともに録画フレームを0にすると録画されませんのでご注意ください。

(2) このプログラムの録画可能の使用量



現状の録画設定と搭載されているHDDの容量により録画可能な時間が表示されます。

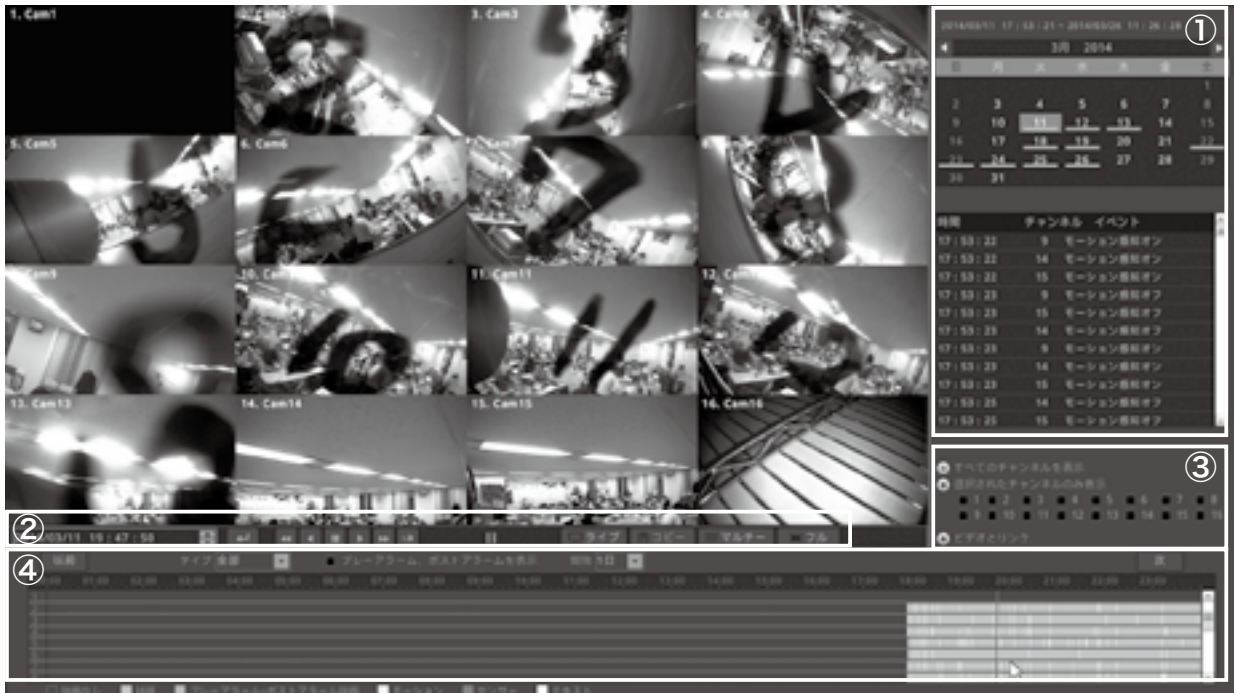
※あくまで目安ですので録画保存を保証するものではありません。

「クイック設定」：すべてのチャンネルを同じ値にします。



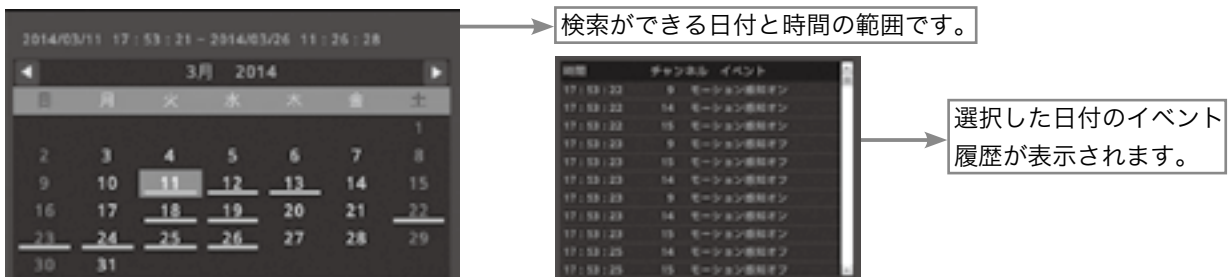
3 検索

マウスでステータスバーの [検索] を選択します。
 選択すると下図のようになります。



①カレンダー / イベント履歴

カレンダーの日付にアンダーラインがある部分が録画データがある印です。



②日付 / 時間・アイコン

検索したい日付と時間を直接入力して時間検索ができます。



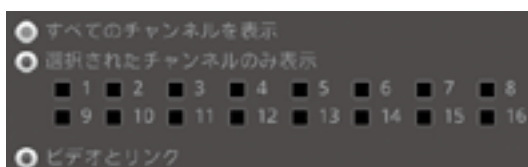
アイコン



- 逆早送り
- 早送り
- ライブ
 ライブ画面に戻る
- 逆再生
- 1/2再生
- コピー
 コピーモードに移る
- 一時停止
- 選択しているコマンド
- サムネイル
 分割画面を選択
- 再生
- 再生映像だけを表示
- サムネイル表示

③イベント履歴表示選択

①のイベント履歴に表示する条件を選択します。



④タイムライン / 表示選択

①のカレンダーで選択した日付の時間軸が表示されます。

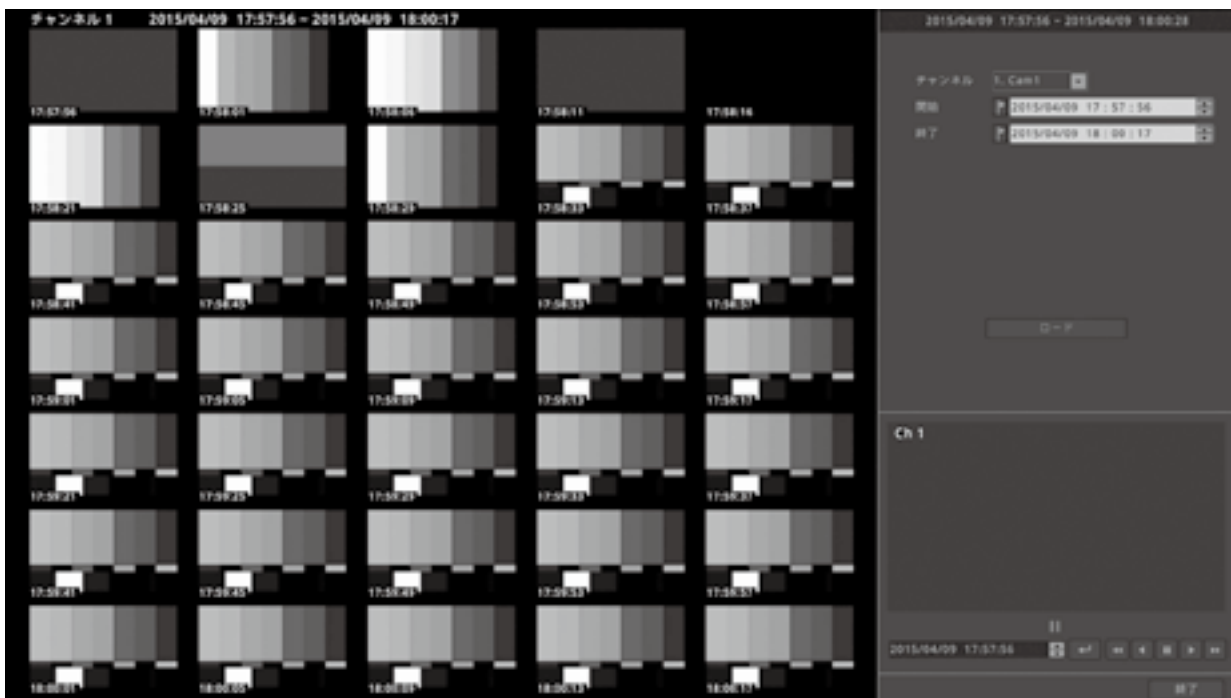


再生したい時間軸を選択すると②の日付 / 時間が指定した表示になり、表示された時間の映像が映し出されます。一時停止状態ですのでアイコンで再生ボタンを選択すると再生されます。

サムネイル検索

選択したカメラ映像の指定した時間を 35 分割にサムネイル画像で表示します。

サムネイルより画像を選択すると、再生またはコピーを行うことができます。



通常の検索画面に戻る場合は、終了ボタンを選択します。

.....

4 コピー（バックアップ）

フロントパネルの【COPY】ボタンもしくはマウスの右クリックからの[コピー]、ステータスバーからの[コピー]を選択すると下図のように表示されます。

※注意：バックアップメディアはFAT32フォーマットのみに対応となっています。



タイプ	EXE、AVIこの2つから選択します。
チャンネル	コピーしたいカメラ番号を選択します。
コピー可能範囲	コピーできる日付/時間が表示されます。
開始	コピー開始時間を選択します。
終了	コピー終了時間を選択します。
ディスクのリスト	接続されているUSBの情報が表示されます。
「予想されるファイルサイズ」	選択した時間のおおよそのデータ量が表示されます。
「開始」	コピーを開始します。
「フォーマット」	バックアップ用のUSB接続されているメディアをフォーマットします。フォーマットするとデータが削除されますのでご注意ください。

4-1 EXE コピー

フロントパネルの USB 端子に バックアップメディアを接続します。

※メディアの認識には少し時間がかかります。



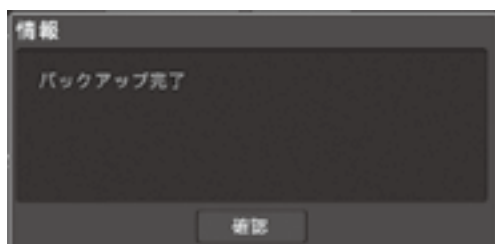
「ディスクのリスト」に情報が出ない場合はメディアがうまく認識していませんので、初めに確認をしてください。

- ①タイプをEXEにします。
- ②コピーしたいチャンネルを選択します。全チャンネルを選択する場合は「すべてを選択」ボタンを選択します。
- ③コピーの開始と終了の時間を選択します。
- ④「予想されるファイルサイズ」におおよそのデータ量が表示されますのでメディアの容量よりも少ないことを確認してください。
- ⑤「開始」ボタンを選択するとコピー開始です。

↓ コピー進捗状況



コピーが正常に終了した場合は、左図のように表示されますので「確認」ボタンを選択し、終了です。



※メディアは完了の表示が出るまで取り外ししないで下さい。

4-2 AVI コピー

フロントパネルの USB 端子に バックアップメディアを接続します。

※メディアの認識には少し時間がかかります。



「ディスクのリスト」に情報が出ない場合はメディアがうまく認識していませんので、初めに確認をしてください。

- ①タイプを AVI にします。
- ②コピーしたいチャンネルを選択します。AVI はチャンネルは 1 つしか選択できません。
- ③コピーの開始と終了の時間を選択します。
- ④「予想されるファイルサイズ」におおよそのデータ量が表示されますのでメディアの容量よりも少ないことを確認してください。
- ⑤「開始」ボタンを選択するとコピー開始です。

↓ コピー進捗状況



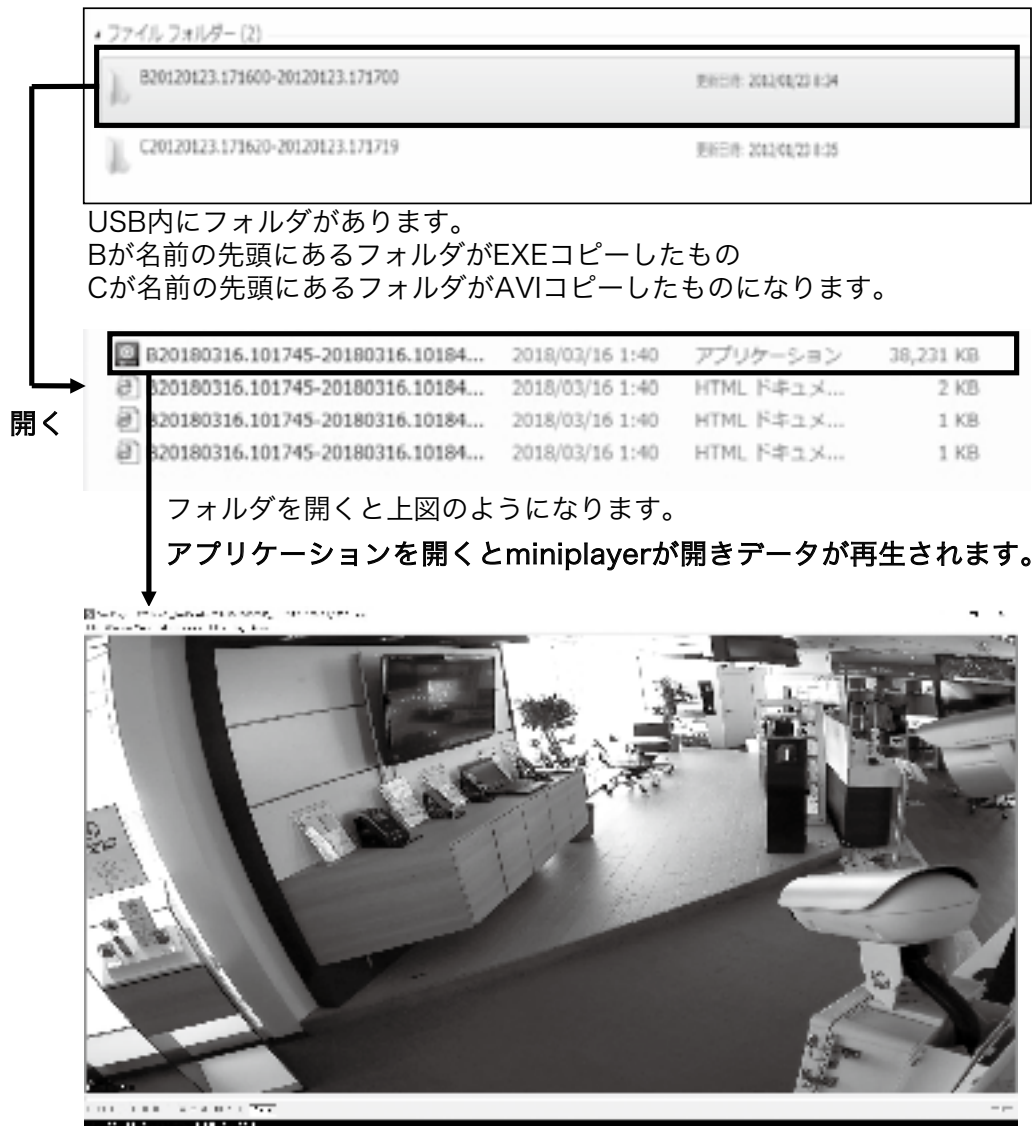
コピーが正常に終了した場合は、左図のように表示されますので「確認」ボタンを選択し、終了です。

※メディアは完了の表示が出るまで取り外ししないで下さい。

4-3 コピー再生

4-3-1 EXEでのコピー再生

USBメモリーをPCに接続し、内容を確認します。
メディアを開くと下図のようになります。



USB内にフォルダがあります。
Bが名前の先頭にあるフォルダがEXEコピーしたもの
Cが名前の先頭にあるフォルダがAVIコピーしたものになります。

開く

フォルダを開くと上図のようになります。
アプリケーションを開くとminiplayerが開きデータが再生されます。

miniplayer 上では分割や単画面など選択できます

4-3-2 AVIでのコピー再生

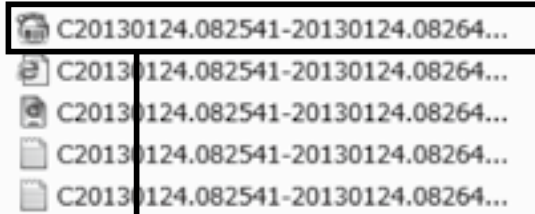
USB メモリーを PC に接続し、内容を確認します。

メディアを開くと下図のようになります。

USB 内にフォルダがあります。C が名前の先頭にあるフォルダが AVI コピーしたものになります。

AVI でのコピー再生はチャンネル限定の再生です。

C20130124.082541-20130124.082641_CH1



フォルダを開くと上図のようになります。

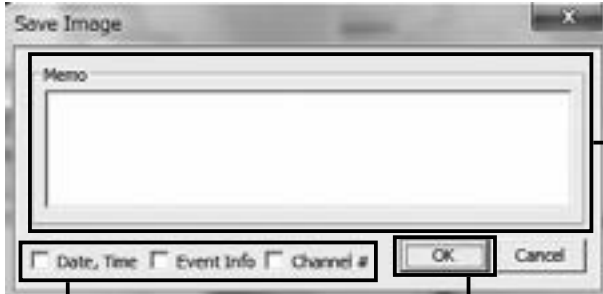
AVI コピーファイルを選択すると Windows メディア プレーヤーなどが開きデータが再生されます。(下図)





画像保存ボタン

miniplayer 上の画像を保存する場合に使用します。
選択した画像が保存できます。
このボタンを押すと下図のボックスが表示されます。



保存する画像についてコメントが
入力できます。

保存する画像に表示した項目を
チェックします。

「OK」ボタンを
押します。



画像を保存する場所と名前を入力します。
「保存」ボタンを選択すると画像が保存されます。
画像保存の形式はビットマップのみとなります。



印刷ボタン

miniplayer 上の画像を印刷する場合に使用します
選択した画像が印刷できます。
このボタンを押すと下図のボックスが表示されます。



印刷する画像についてコメントが
入力できます。

印刷イメージ

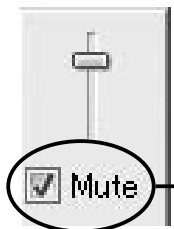


「OK」ボタンを選択すると、
印刷のボックスが表示されま
すので印刷します。

カメラ番号・録画日時などが
表示されます。

④ **Save As** : 選択したチャンネルの静止画保存をします。
bmp、JPEG の選択方法を選び、保存場所を指定します。

⑤ **Listen** : 選択したチャンネルの音声の設定です。



選択すると音声のボリュームスライダーが出てきますので調整します。


Mute にチェックがある場合は、消音状態です。
チェックを外すとボリュームスライダーで音量の調整ができます。

5-3-2 分割ボタン



数字をクリックすると分割表示になります。

単画面、4分割、9分割、13分割、16分割、25分割、36分割になります。

 このボタンはフルスクリーンボタンで、クリックするとチャンネルの映像だけが表示されます。
もとの表示に戻る場合はキーボードの **[Esc]** ボタンを押してください。

5-3-3 Channel、Sensor、Relay、Mic

チャンネル表示

接続されている DVR のチャンネルです。

クリックするたびに ON/OFF が切り替わります。



ON 状態
(ボタンが青く点灯します)



OFF 状態

センサー表示



センサー感知すると  このように変わります。

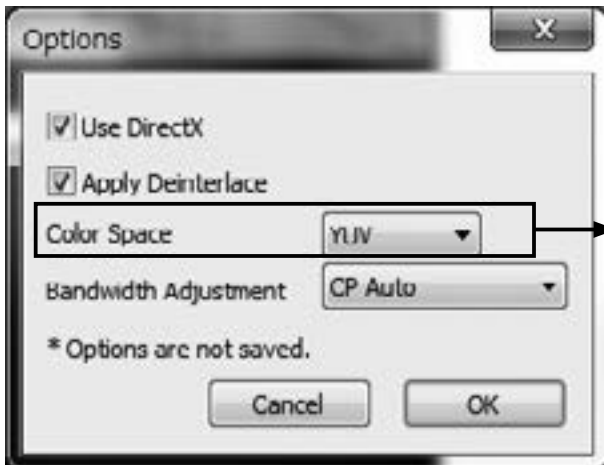
リレー表示



リレーが反応すると  このように変わります。

5-3-4 オプションボタン

Webビューワーのオプションです。クリックすると下図のように表示されます。



ライブ映像が正常に表示できない場合は、Color SpaceをYUV → RGBに変更してみてください。

5-3-5 イベントデータ

DVRのイベント履歴が表示されます。

Time	Event	Message
2011.03.29 11:27:18	真	1 On CH1 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	真	3 On CH3 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	真	2 On CH2 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	真	4 On CH4 - Motion Detected
2011.03.29 11:27:18	真	3 On CH3 - Motion Detected

アイコン	機能
	モーションディテクション ON
	センサー入力
	リレー出力
	ビデオ未接続・ビデオ接続

5-3-6 Remote DVR

Remote DVRとはWindows PCのリモートデスクトップ機能と同じように、DVRのビデオ出力を表示し遠隔地にあるDVRを制御することができます。



7 モバイルアプリケーション

モバイルアプリケーションはスマートフォン (Android および iOS) 対応です。

アプリ名は「WebEye」となっております。Apple App Store と Google Android Store で検索し、ダウンロード・インストールしてください。(無料)

※ Android 端末は接続できないことや映像が見られないという症状があります。必ず事前に動作確認をお願いいたします。

- ・ 最大100ユニットまで登録可能
- ・ マルチストリーム機能をサポート
- ・ システム及びイベントログを検索可能

シングルモニタリングモードでデジタルズーム、PTZ制御、画像保存などの機能があります。

7-1 iOS アプリの登録方法

7-1-1 URL 登録



1. アプリケーションのインストール後に「+」ボタンをタップ
2. カテゴリのURLを選択
3. 「サイト」: 任意で入力します。登録名を入力
「IPアドレス」: IPアドレスまたはドメインアドレスを入力 (例: 192.168.1.xxx test.mycam.to など)
4. 「ポート」: 接続するDVR (DVR) に設定しているポート番号を入力
5. 「ユーザーID」: ログインするユーザーIDを入力
6. 「パスワード」: パスワードを入力
7. 「検索」ボタンをタップします。
※接続可能状態であれば、ユニットの名とモデルに表示されます。
8. 右上の「保存」ボタンで登録を保存します。

7-1-2 WRS 登録



1. カテゴリでWRSを選択
2. DVR (DVR) で作成したグループIDを入力
3. 「検索」ボタンを選択
4. 検索結果が表示されますので、登録したいユニットを選択
5. 「ユーザーID」と「パスワード」を入力
6. 画面右上の「保存」ボタンで登録を保存

ユニットリスト上に登録一覧が表示されますので、登録ユニット名をタップすると接続できます。

このボタン表示は接続可能を意味します。

このボタンは接続不可を意味します。

7-2 Androidアプリ登録方法

7-2-1 URL 登録



1. アプリケーションのインストール後に「+」ボタンをタップ
2. カテゴリの静的を選択
3. 「サイト」: 任意で入力します。登録名を入力
「Unitアドレス」: IPアドレスまたはドメインアドレスを入力
(例: 192.168.1.xxx test.mycam.to など)
4. 「ポート」: 接続するDVR (DVR) に設定しているポート番号を入力
5. 「ユーザーID」: ログインするユーザーIDを入力
6. 「パスワード」: パスワードを入力
7. 「検索」ボタンをタップします。
※接続可能状態であれば、ユニットの名とモデルに表示されます。
8. 「保存」ボタンで登録を保存します。

7-2-2 WRS 登録

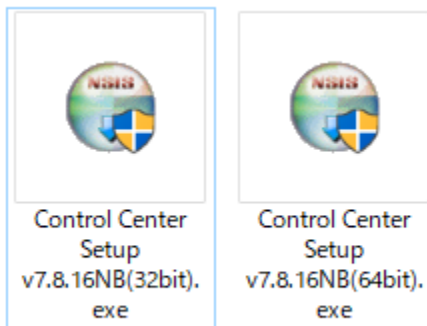


1. カテゴリで動的を選択
2. DVR (DVR) で作成したグループIDを入力
3. 「グループIDで検索」ボタンを選択
4. 検索結果が表示されますので、登録したいユニットを選択
5. 「ユーザーID」と「パスワード」を入力
6. 画面下の「保存」ボタンで登録を保存

ユニットリスト上に登録一覧が表示されますので、登録ユニット名をタップすると接続することができます。

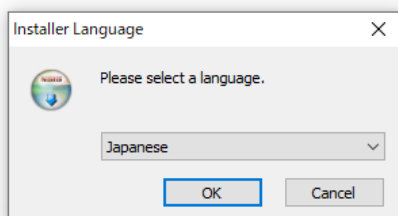
PCでの遠隔監視

- ①スマートフォン等で遠隔監視が行える状態にしてください。
- ②付属のCDまたは下記アドレスよりPC用ソフトをダウンロードします。
<https://www.altaclass-store.jp/download/cc.zip>
- ③ソフトをインストールします。
※32bit用と64bit用がありますのでPCに合わせてインストールください。

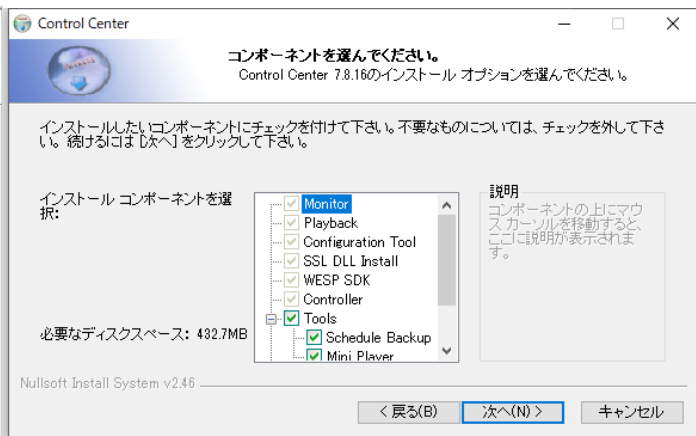
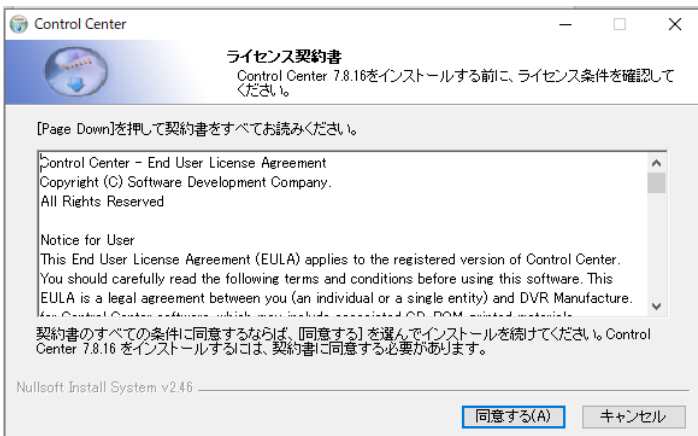


アイコンをクリックするとインストールが開始されます。
「このアプリがデバイスに変更を与えることを許可しますか？」と表示されたら「はい」をクリックします。

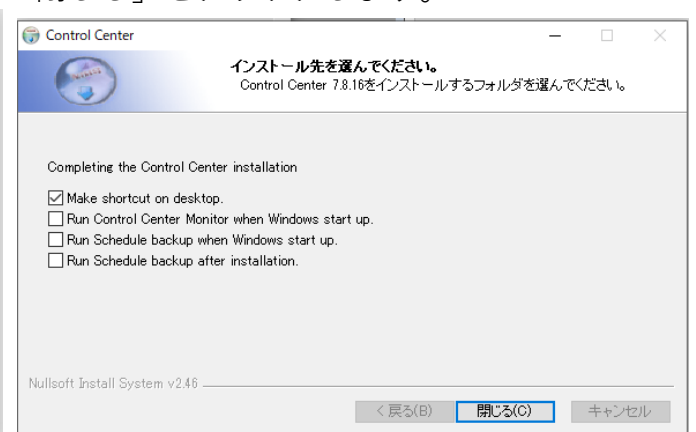
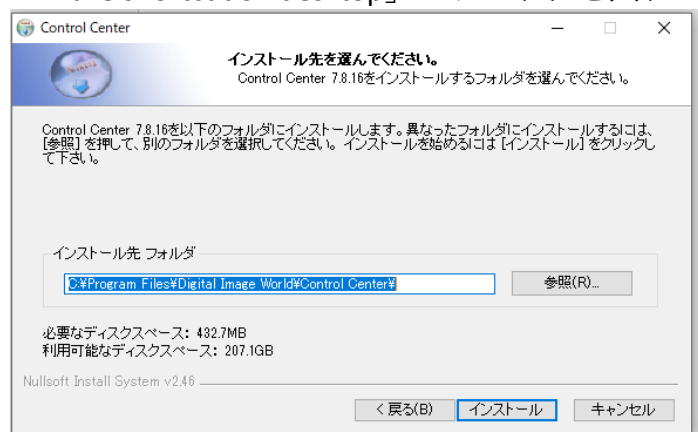
- ④「japanese」を選択しOKをクリックします。



- ⑤「同意する」を選択しOKをクリックし「次へ」をクリックします。



- ⑥「Install」をクリックするとインストールが開始されます。
「Make shortcut on desktop」にチェックを入れて「閉じる」をクリックします。



- ⑦「デスクトップのアイコンをクリックするとソフトが起動します。

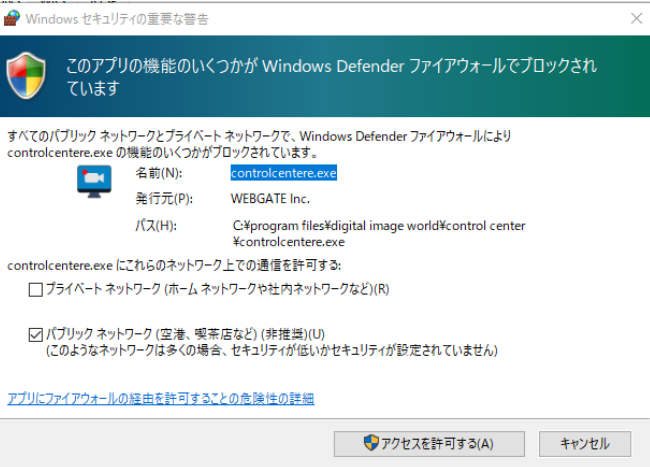


PCでの遠隔監視

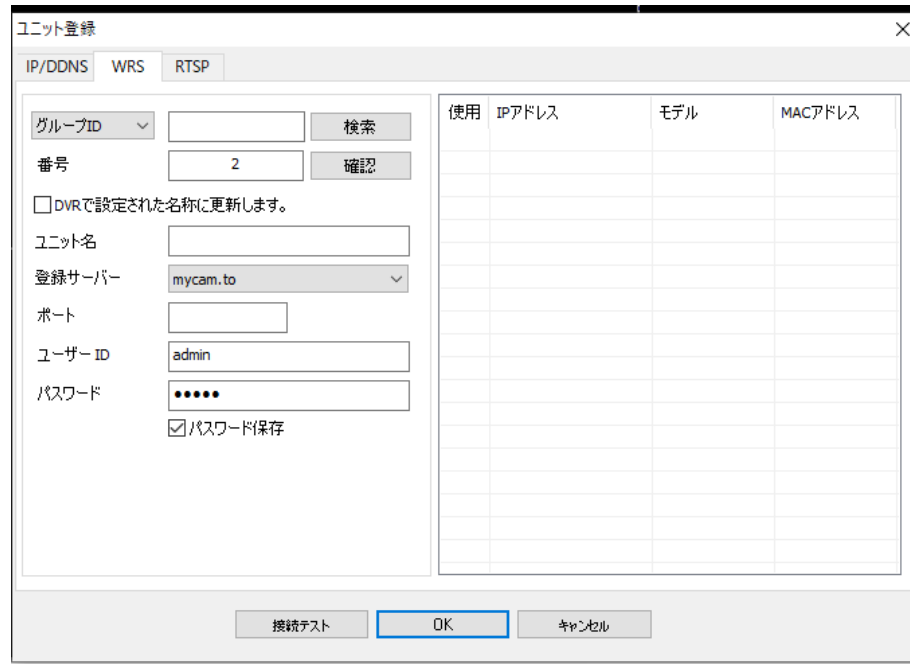
⑧ソフトを起動します。



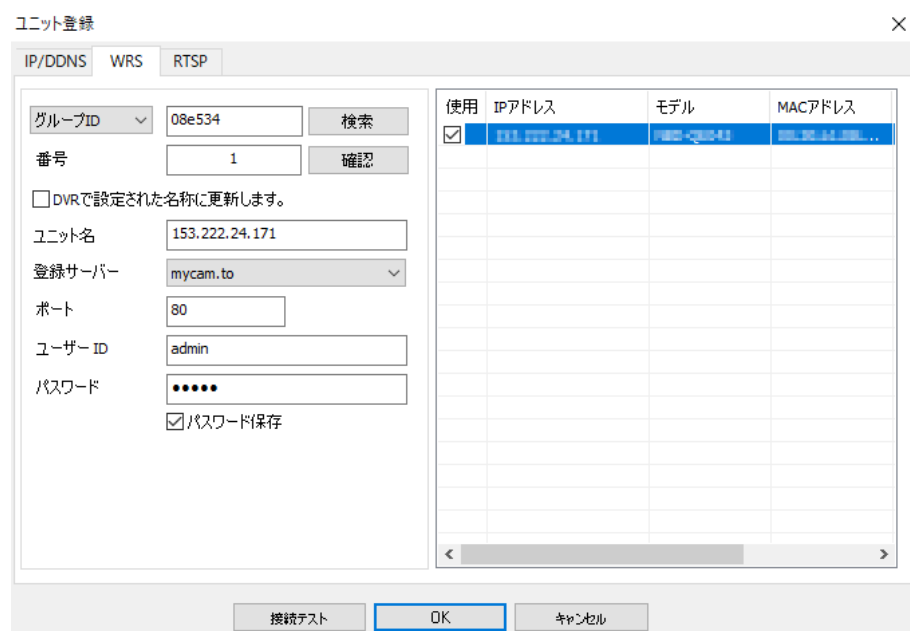
⑨Windowsの警告が表示されたら「アクセスを許可する」をクリックします。



⑩ユニット登録の画面が表示されますので、「WRS」を選択します。
スマートフォンで登録してある「グループID」を入力し「検索」をクリックします。
例 「ab5dE.nycam.to」の場合「ab5dE」を入力して検索します。

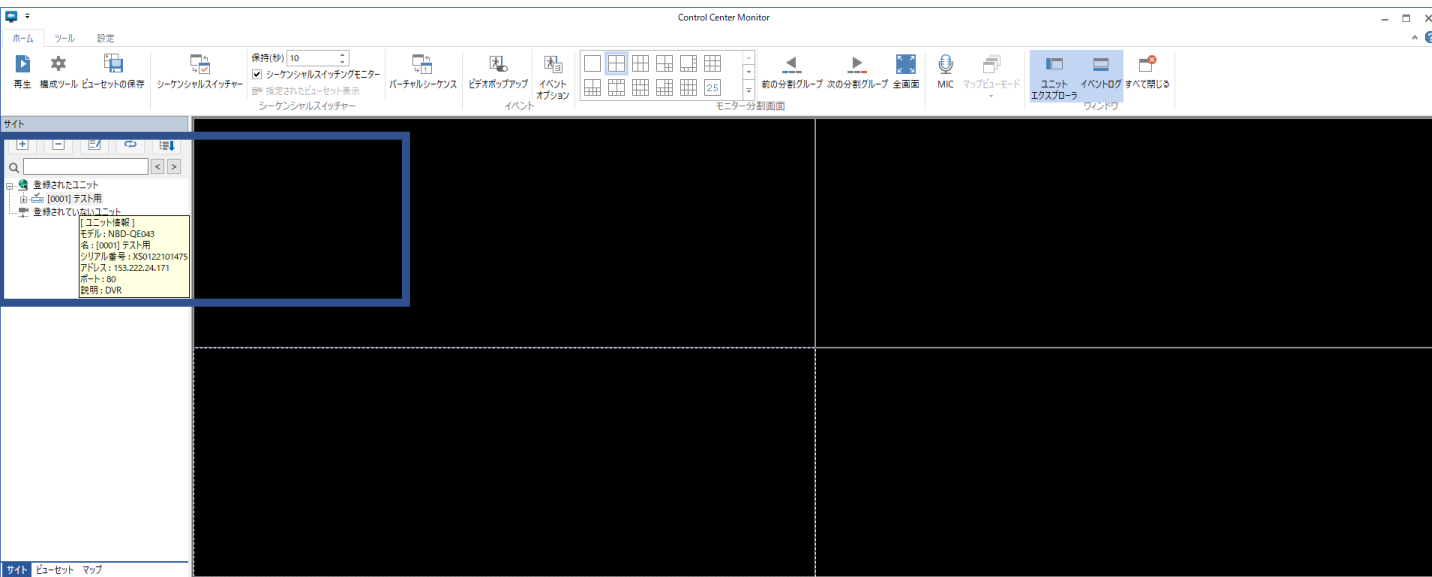


⑪レコーダー情報が表示されるので「使用」にチェックを入れて情報を修正します。
※ポート、ユーザー名、パスワードがデフォルトの場合はそのまま「OK」をクリックします。

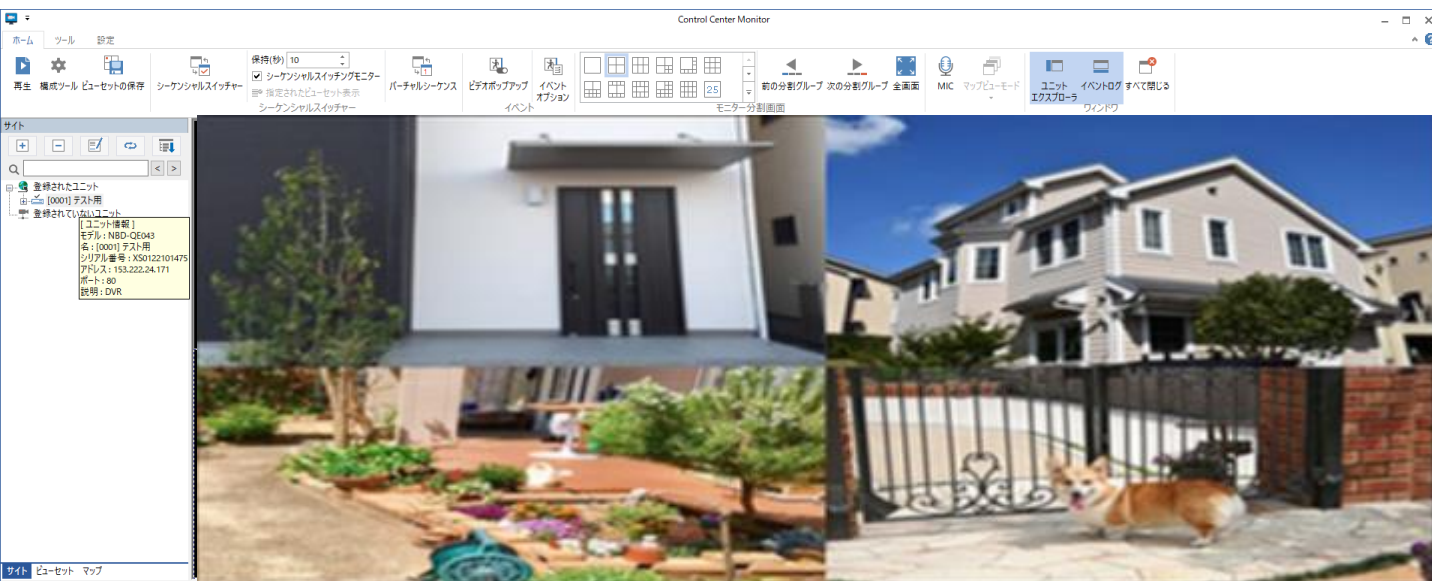


PCでの遠隔監視

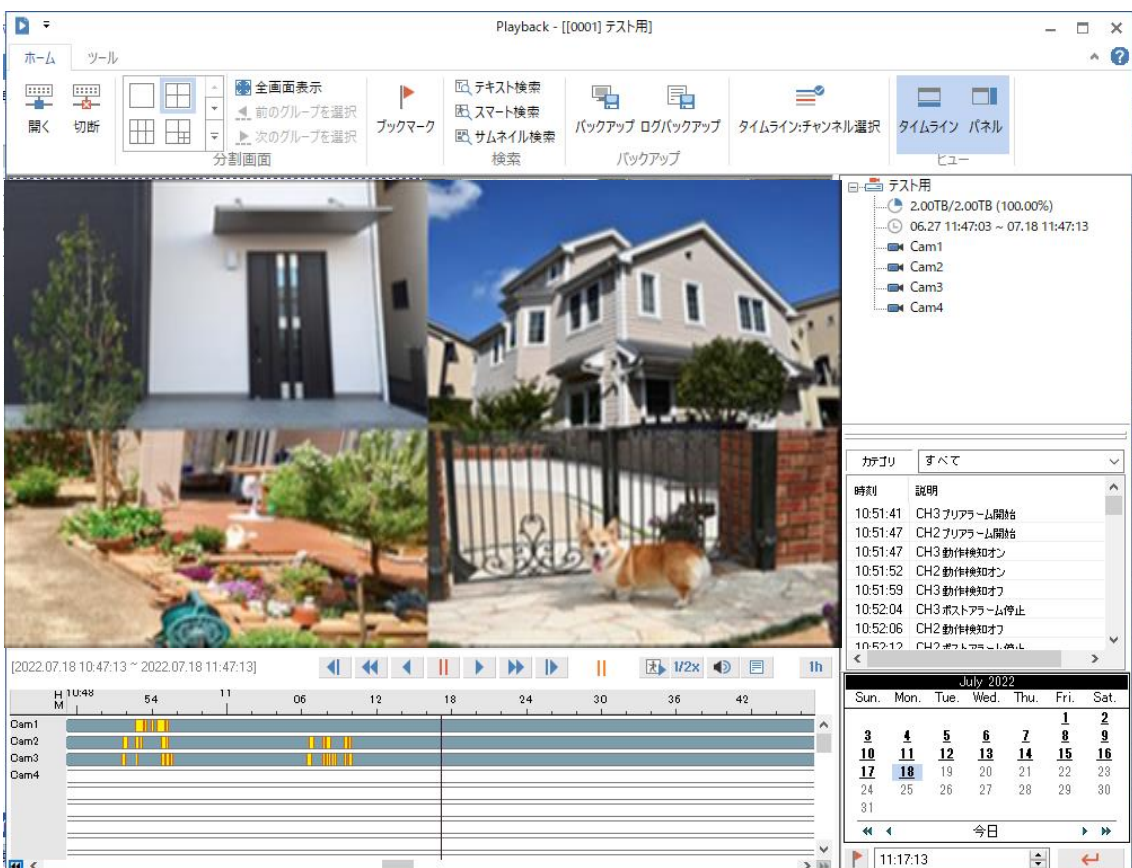
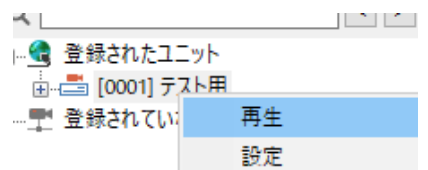
⑫「サイト」欄に登録したレコーダーが表示されるので左クリックします。



⑬映像が表示されます。



⑭再生を行いたい場合は「サイト」の登録したレコーダーを右クリックして「再生」をクリックします。



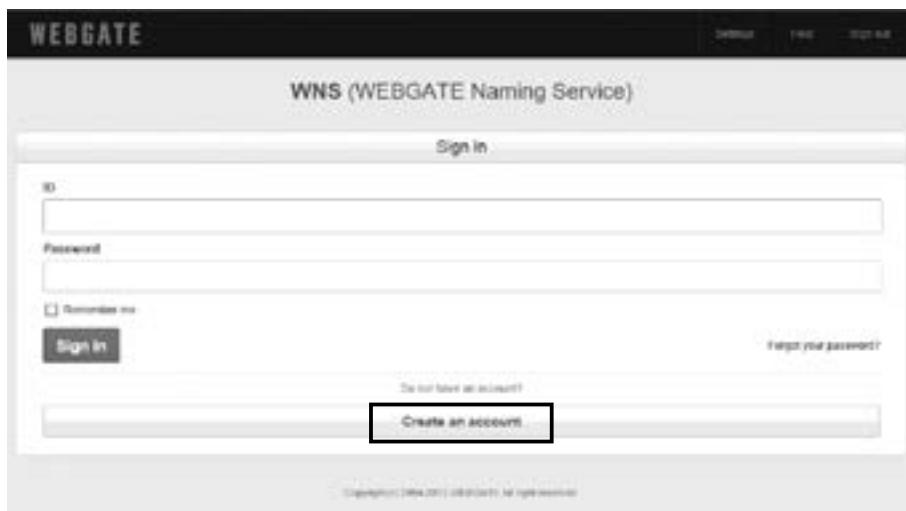
第 3 章 WNS (Webgate Naming Service) 設定手順

内容

この章では、Webgate 社の DDNS サービスである、WNS の設定登録の手順を記載しています。DVR で DDNS を利用される場合、この手順を参考に設定してください。

WNS アカウント登録 (WNS アカウントが無い場合のみ)

- 1.PC のブラウザソフトで WNS のサイト (http://mycam.to) へアクセスし、**Create an account** ボタンをクリックします。
2. 各項目を入力して、Register ボタンをクリックします。



3. 登録内容に問題がなければ、以下の画面が表示されるため、OK ボタンをクリックします。



サブドメイン登録

サブドメイン登録は、DVR がインターネットに接続している状況で行ってください。
(DVR がインターネットに接続していない状況では、登録できません。)

- 1.WNS のサイト (http://mycam.to) にアクセスし、WNS アカウント情報 (ID,Password) を入力後、**Sign in** ボタンをクリックしてください。
- 2.Add ボタンをクリックします。

3. 各項目を入力し、Add ボタンをクリックして、登録を完了です。

サブドメイン登録状況の確認

WNS にサインインすると、すでに登録してあるドメインが表示されます。



各項目の説明

Edit (登録ドメインの編集削除)

Modify (青字) : 内容を修正するときこのボタンを使用します。

Delete (赤字) : ドメインの削除をするときこのボタンを使用します。

Status (登録ドメインの状況)

: ドメインの更新が 30 分以内あった場合

Less than 30 minutes : ドメインの更新が 30 分以上 1 日以内にあった場合

Less than 1 day : ドメインの更新が 1 日以上ない場合 (製品動作の確認が必要)

More than 1 day

メモ

ネットワーク設定

項目	設定値
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	■ ■ ■
ローカルIPアドレス	■ ■ ■
WRS (DDNS) アドレス	.mycam.to
ID/パスワード	ID パスワード
サブネットマスク	■ ■ ■
ゲートウェイ	■ ■ ■
ネットワークパスワード	
備考	

ルーター設定 ルーター ID (初期値) 例 : admin,administrator,root

項目	設定値
ID	
パスワード	
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	■ ■ ■
ローカルIPアドレス	■ ■ ■
サブネットマスク	■ ■ ■
ゲートウェイ	■ ■ ■
備考	

WRS 設定 (<http://mycam.to>)

ユーザー ID	
パスワード	

販売代理店